

# Marshall

Broadcast A/V Division



## VS-PTC-IP

PTZ Camera Remote Controller

Operation Guide

日本語版

## 目次

1. 重要な情報 .....	3
2. 内容物 .....	6
3. モデル .....	8
4. キーボード図 .....	9
4-1 VS-PTC-IP .....	9
4-2 システム概要 .....	12
4-3 接続 .....	12
4-4 初期設定 .....	13
4-5 コネクタのピン配列の定義 .....	14
4-6 IP 接続 .....	14
4-7 RS232 接続 .....	15
4-8 RS422 接続 .....	17
4-9 RS485 接続 .....	19
5. キーボード構成 .....	20
5-1 VS-PTC-IP との相互作用 .....	20
5-2 セットアップボタン: .....	20
5-3 本機のセットアップ .....	21
5-4 ボタンライト .....	22
5-5 キーの割り当て .....	23
5-6 工場出荷時の設定 .....	24
5-7 GPII / O .....	24
6. パスワード設定 .....	25
6-1 カメラの割り当て方法 .....	26
6-2 本機への ONVIF カメラの追加 .....	27
6-3 本機への VISCA over IP カメラの追加 .....	30
7. カメラとの相互作用 .....	33
7-1 RS422A ボタンと RS422B ボタン .....	33
7-2 カメラを呼び出すためのオプション .....	33
7-3 カメラの制御 .....	34
7-4 手動移動 .....	35
7-5 プリセットの設定と呼び出し .....	35
7-6 画像パラメータの調整 .....	37
8. ファームウェアのアップグレード .....	38

9. 寸法 .....	39
保証 .....	40

## 取扱説明書

Marshall VS-PTC-IP コントローラーをお買い上げいただきありがとうございます。ご不明な点がございましたら、ご購入販売店までお問い合わせください。

ユニットを操作する前に、このマニュアルをよくお読みになり、後で参照できるように保管してください。

### 著作権

Copyright Marshall Electronics all rights reserved. このマニュアルのいかなる部分も、当社からの書面による事前の同意なしに、いかなる形式または手段によってもコピー、複製、翻訳、または配布することはできません。

### 商標の認知

(Marshall ロゴ)およびその他の Marshall の商標およびロゴは、Marshall electronics の所有物です。このマニュアルに記載されているその他の商標、会社名、および製品名は、それぞれの所有者に帰属します。

## 1. 重要な情報

### 法的通知

#### 注意:

アカウントのセキュリティを確保するために、最初のログイン後にパスワードを変更してください。強力なパスワード(8 文字以上)を設定することをお勧めします。パスワードログインは、パスワードログインを必要としない一部のモデルには適用されません。

この取扱説明書の内容は、事前の通知なしに変更される場合があります。このマニュアルの新しいバージョンに更新が追加されます。マニュアルに記載されている製品や手順は、容易に改善または更新します。

この取扱説明書の内容の完全性と正確性を検証するために最善の努力が払われていますが、このマニュアルの記述、情報、または推奨は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の正式な保証を構成するものではありません。このマニュアルの技術的または誤植について、当社は責任を負いません。

このマニュアルに記載されている製品の外観は参照用であり、デバイスの実際の外観とは異なる場合があります。




このマニュアルはカメラ等、複数の製品モデルでの使用する為のガイドであるため、特定の製品を対象としたものではありません。

このマニュアルでは、表示されるインターフェース、表示されるパラメータ、図面、および値の範囲の図は、モデルによって異なる場合があります。詳しくは実際の商品をご覧ください。

物理的環境などの不確実性により、このマニュアルに記載されている実際の値と参照値の間に不一致が存在する場合があります。

この取扱説明書の使用とその後の結果は、完全にユーザー自身の責任であるものとします。

#### 記号

記号	説明
 警告	重要な安全上の注意事項が含まれており、事故を引き起こす可能性のある状況を示しています。
 注意	ユーザーは注意する必要がある、不適切な操作は製品の損傷や誤動作を引き起こす可能性があります。
 注意	製品の使用に関する有用または補足情報を示します。

#### 安全情報



ユニットとその付属品の取り付けと取り外しは、資格のある担当者が行う必要があります。設置および操作の前に、機器に付属のすべての安全上の注意事項をお読みください。

#### 警告：

- ・ 製品が正常に動作しない場合は、販売店にお問い合わせください。ユニットを自分で分解しようとししないでください。（不正な修理やメンテナンスによるトラブルについては責任を負いかねます。）
- ・ このインストールは、資格のあるサービス担当者が行う必要があります、すべての地域の法令に準拠している必要があります。
- ・ 出荷時には、ユニットは元のパッケージに梱包する必要があります。
- ・ 本機に接続する前に、電源電圧が正しいことを確認してください。
- ・ ユニートを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。

#### メンテナンス上の注意：

- ・ 液体はキーボード SW の機能を損なう可能性があるため、湿気や液体がキーボードに影響しないようにしてください。
- ・ RJ-45 ポートにほこりや湿気がないようにしてください。
- ・ 付属の電源のみを使用してください。

#### 企業コンプライアンス

##### FCC パート 15

この機器はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に準拠したデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、機器が商用環境で動作しているときに有害な干渉に対して合理的な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能

性があり、取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地でこの機器を操作すると、有害な干渉が発生する可能性があります。その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

この製品は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には、次の 2 つの条件があります。このデバイスは、有害な干渉を引き起こしてはなりません。

このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。



この製品は、欧州低電圧指令 2006/95 / EC および EMC 指令 2004/108 / EC に準拠しています。



WEEE 指令-2002 / 96 / EC

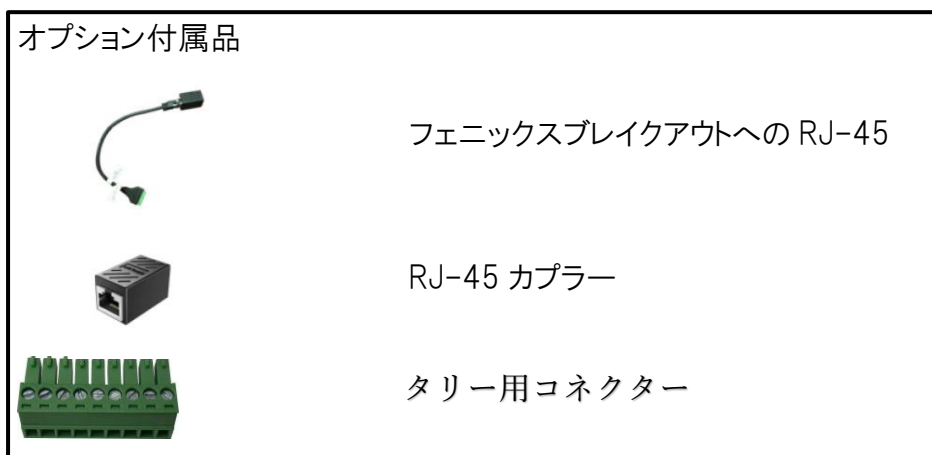
このマニュアルで言及されている製品は、廃電気電子機器(WEEE)指令の対象であり、責任を持って廃棄する必要があります。

## 2. 内容物

### 標準付属品

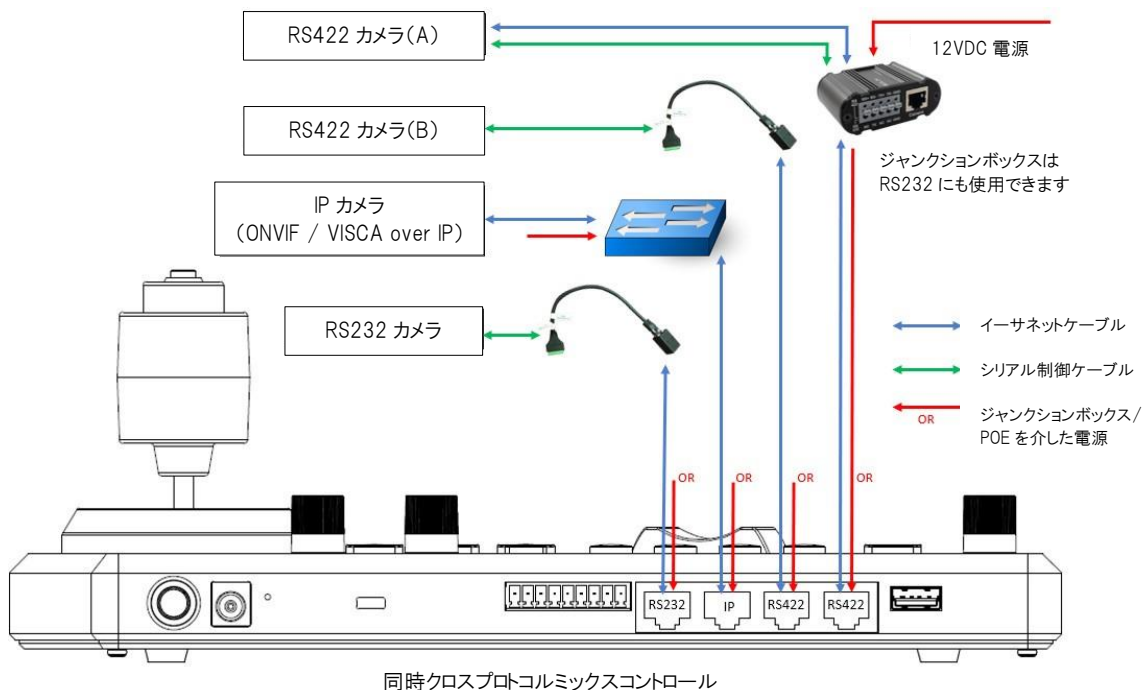


### オプション付属品



「オプション」のアクセサリが必要になる場合：

- RS422 カメラと RS232 カメラが同時に制御されている場合
- RS422 カメラの複数のグループが同時に制御されている場合



ジャンクションボックスに電力が供給されると、接続されている次のポートのいずれかを介してキーボードに電力が供給されます—RS232、RS422(A)、RS422(B)。電源付きジャンクションボックスを使用している場合、キーボードに追加の電源は必要ありません。

シリアル制御プロトコル(RS422 および RS232)に関する注意：

- RS232 カメラのみを制御する場合、キーボードは合計 7 台の RS232 カメラを制御できます。
- RS422 カメラと RS232 カメラを同時に制御する場合、キーボードは合計 7 台の RS232 カメラと RS422 カメラを制御できます。
- RS422 カメラのみを制御する場合、キーボードは最大 14 台の RS422 カメラ(7 台のデジチェーン 2 台)を制御できます。

キーボードは、混合プロトコル(RS422、RS232、および IP)間で、最大 255 台のカメラを同時に制御できます。

### 3. モデル

このユーザーガイドは、次のモデル用です。

- ・ VS-PTC-IP

主な機能:

- ・ RS232 / RS422 および IP とのクロスプロトコルミックスコントロール
- ・ プロトコルのサポート: VISCA、PELCO D / P、ONVIF、VISCA over IP
- ・ クイックアクセス制御
- ・ 高品質の同期-6 方向ジョイスティック制御独立したデュアル電源入力: 12VDC、POE(パワーオーバーイーサネット: LAN ケーブルによる電源供給)

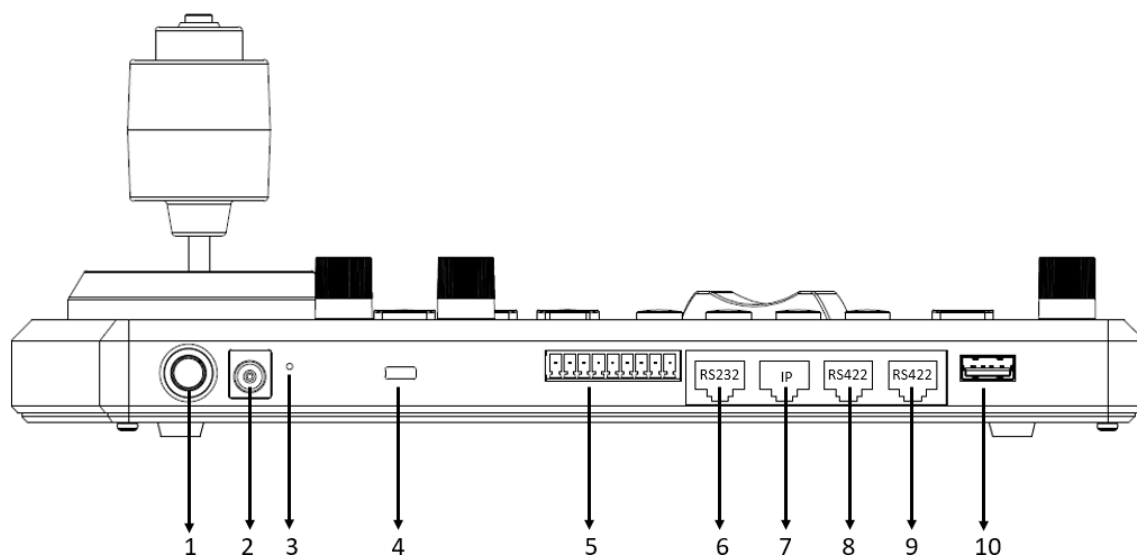
機能:

- ・ ライブイベントの制作とコンテンツの作成のための複数のリモートカメラの制御。  
アプリケーション: 教育、放送、ビデオ会議など。
- ・ このコンパクトなリモコンは、片手で簡単にパン、チルト、ズームを調整できる高品質のジョイスティックを備えています。ズームは、ジョイスティックまたは補助シーソーレバーを介して制御することもできます。専用のノブとコントロールボタンにより、カメラメニューを使用せずに、頻繁に必要なカメラ機能に直接アクセスできます。
- ・ クイックアクセス機能には、露出、シャッタースピード、アイリス補正、ホワイトバランス、フォーカス、PT スピード、ズームスピードの制御が含まれます。
- ・ コントローラーは、シリアル RS232 / RS422 および IP ミックスコントロールをサポートします。これにより、1 つのコントローラーで RS232 / RS422 / IP 制御を使用して、単一のシステムでカメラを制御できます。
- ・ P 制御により、ネットワーク内で利用可能な IP カメラを自動的に検索し、IP アドレスを簡単に割り当てることができます。IP 制御は、ONVIF、VISCA OverIP をサポートします。
- ・ 画像パラメータのメモリとカメラの動きを呼び出すための 8 つのパターン/クルーズを備えた最大 256 のカメラプリセット。(カメラのサポートが必要です)
- ・ タリーインジケーター: 通常のタリー/オンエアタリー/接触モード が含まれます。
- ・ VISCARS422 デイジーチェーン制御を介して 2 つのグループ(グループあたり 7 台のカメラ)をサポートします。無制限の数のコントローラーが単一のネットワーク上で動作して、最大 255 台の IP カメラを制御できます。最大合計 255 台のカメラを制御します(PELCO / VISCA / ONVIF IP / VISCA-Over-IP プロトコルを使用して結合します)。
- ・ 最大 6 つの選択可能な ASSIGN ファンクションキー、追加の機能を ASSIGN ボタンに割り当てることができます。マルチカラーのキー/ボタン照明インジケーター
- ・ すべてのマーシャル PTZ カメラと、ソニー-BRC、SRG シリーズ PTZ カメラ、および RS232 / RS422 / RS485 / IP 制御をサポートするほとんどの PTZ カメラで、互換性があります。
- ・ パフォーマンスを最新に保つために、USB 経由で制御 FW のアップグレードを利用できます。

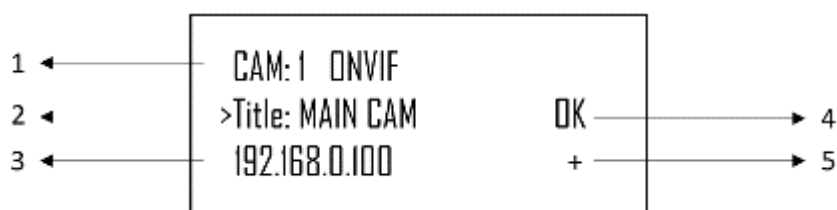


## 4. キーボード図

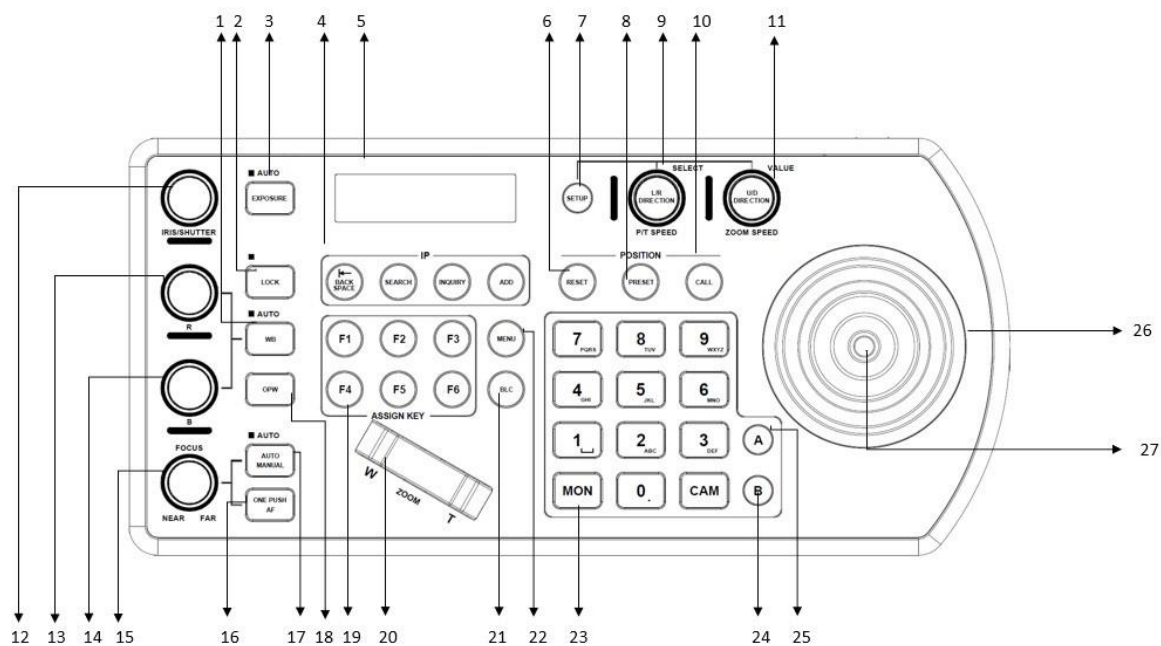
### 4-1 VS-PTC-IP



1. 電源ボタン  
キーボードの電源オン/電源オフ
2. 12VDC 電源ポート  
付属の DC 電源アダプターとコードを接続します
3. ファームウェアインターフェイスボタン  
キーボードのファームウェアアップデートモードを有効にします
4. ケンジントンセキュリティスロット  
ロックを使用して、キーボードを所定の位置に物理的に固定します
5. 集計/連絡先  
タリーコントロールインターフェイス
6. RS232 インターフェイス/ RJ-45 ポート  
RS232 アダプターを接続します
7. IP インターフェイス/ RJ-45 ポート  
キーボードをネットワークに接続します
8. RS422(B)インターフェイス/ RJ-45 ポート  
RS422 アダプターを接続して、最大 7 台のデジチェーン接続された RS422 カメラを制御します(グループ A)
9. RS422(A)インターフェイス/ RJ-45 ポート  
RS422 アダプターを接続して、最大 7 台のデジチェーン接続された RS422 カメラを制御します(グループ B)
10. ファームウェアアップグレード USB ポート



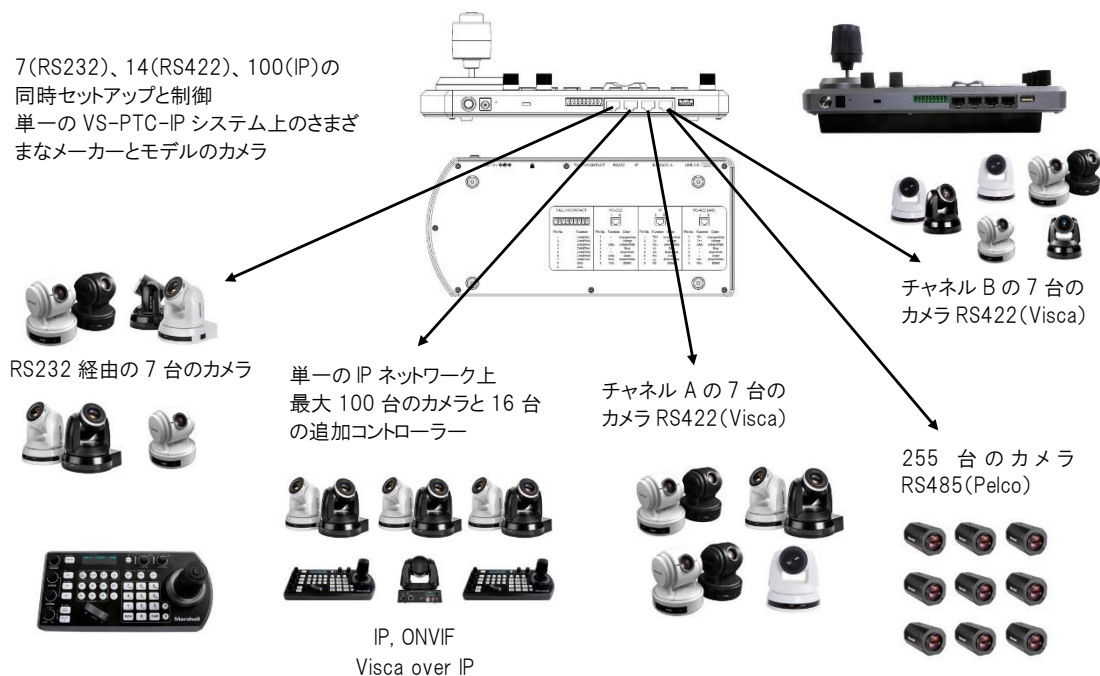
1. カメラ識別子—制御されているカメラと使用されているプロトコルを識別します
2. カメラタイトル—現在のカメラのユーザー定義のタイトル
3. IP アドレス—現在のカメラの IP アドレス(該当する場合)
4. 現在のデバイスの通信インジケータ
  - a. OK は、キーボードが現在のデバイスとの通信を確立したことを意味します
  - b. 「OK」が表示されない場合、キーボードは現在のデバイスに接続できていません
5. ネットワーク接続インジケータ
  - a. 「+」が表示されている場合は、ネットワークが正常に接続されていることを意味します
  - b. 「+」が表示されない場合は、ネットワークが接続されていないことを意味します



1. ホワイトバランス(自動、手動)
  - ・ 自動の場合は 1 回押します
  - ・ もう一度押すと、手動調整が有効になります
2. ロッカー—すべての画像調整ボタンとダイヤルをロックします
3. 露出(自動、アイリス PRI、シャッターPRI)
4. IP インターフェースボタン—IP カメラとの対話に使用されます
5. LCD 画面—キーボード設定をナビゲートするためのディスプレイ

6. リセット—プリセットをクリアするために使用されます
7. セットアップ—キーボードメニュー設定に使用
8. プリセット—カメラのプリセットを保存するために使用されます
9. パンチルトスピードノブ
  - ・ 回転:速度調整/ナビゲート(メニュー内)
  - ・ 押す:選択(メニュー内)
  - ・ 長押し:L / R 方向を反転します
10. 呼び出し—カメラプリセットの呼び出しに使用されます
11. ズームスピードノブ
  - ・ 回転:ズーム速度の調整/値の調整(メニュー内)
  - ・ 押す:保存(メニュー内)
  - ・ 長押し:U / D 方向を反転
12. 露出のための IRIS /シャッター調整
13. ホワイトバランスの手動赤調整
14. ホワイトバランスの手動ブルー調整
15. マニュアルフォーカス
16. ワンプッシュフォーカス
17. フォーカス自動/手動トグル
18. ホワイトバランス用 OPW(ワンプッシュ WB)
19. キーの割り当て—コマンドへのクイックアクセスを割り当てるために使用されます
20. ズームシーソー —ズームイン/ズームアウト用
21. BLC(逆光補正)—カメラの逆光補正設定を切り替えます
22. メニュー—カメラの OSD メニューを引き出すため
23. 英数字キーパッド—カメラ通話、プリセット通話、データ入力(メニュー内)に使用
24. RS422 グループ B の選択
25. RS422 グループ A の選択
26. PTZ ジョイスティック
27. データの入力/確認へのメニュー設定の Enter ボタン

## 4-2 システム概要



## 4-3 接続

本機は、シリアル RS232 / RS422 および IP クロスプロトコルミックスコントロールをサポートします。1つの VS-PTC-IP で RS232 / RS422 / IP 制御を使用して、単一のシステムでカメラ(プロトコルサポート: VISCA、PELCO D / P、ONVIF、VISCA over IP、CGL \*)を制御できます。

カメラの制御に使用されているプロトコルによっては、次の1つ以上を接続する必要がある場合があります。

### ネットワークスイッチへの IP ポート

- VS-PTC-IP の Web インターフェイスへのログインに使用されます。
- 次の PTZ プロトコルを制御するために使用されます。
  - VISCA over IP
  - ONVIF
- キーボードとカメラとの RS232 接続 1 対 1 接続
- RS232 デイジーチェーンへのキーボード接続

### RS422 接続

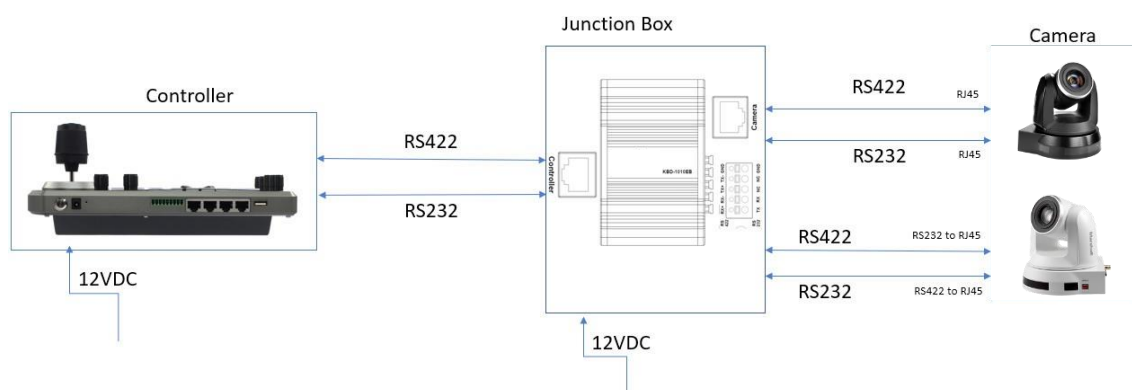
- 本機 RS422(A または B)RJ-45 ポートから RS422 アダプターから RS422 カメラ(デイジーチェーン)
- 本機 RS422(A または B)RJ-45 ポートから RS422 へのアダプターから RS485 カメラへ。

## 4-4 初期設定

### 電源

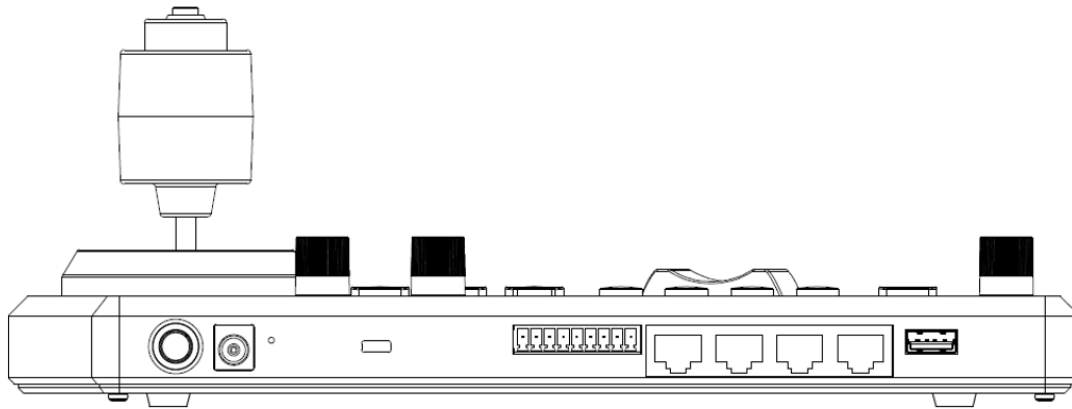
次のいずれかのオプションを使用して、本機の電源を入れます。

1. 電源(付属)
  - ・ 電源電圧公差 9V - 12V
2. POE を使用します(イーサネット IP ポートを POE スイッチに接続します)
  - ・ CAT6Plus ケーブルを使用した場合の最大距離 80M
3. 付属のジャンクションボックスを使用します
  - ・ ジャンクションボックスを電源に接続します。
  - ・ イーサネットケーブルをジャンクションボックスの「コントローラ」ポートから VS-PTC-IP の RS422 または RS232 ポートに接続します。
  - ・ ジャンクションボックスを使用して、キーボードの RS422 または RS232 ポートを介してキーボードに電力を供給する場合。キーボード用の追加の電源は必要ありません。



本機またはジャンクションボックスのいずれかに電源が必要です。ジャンクションボックスに電力が供給されている場合、ジャンクションボックスは制御ポートを介して本機に電力を供給するため、本機に追加の電源は必要ありません。

## 4-5 コネクタのピン配列の定義



TALLY/CONTACT			RS-232			IP			RS-422 (A/B)		
Pin No.	Function		Pin No.	Function	Color	Pin No.	Function	Color	Pin No.	Function	Color
1	CAMERA1		1	-	Orange/White	1	TX+	Orange/White	1	TX-	Orange/White
2	CAMERA2		2	-	Orange	2	TX-	Orange	2	TX+	Orange
3	CAMERA3		3	GND	Green/White	3	RX+	Green/White	3	GND	Green/White
4	CAMERA4		4	-	Blue	4	n/c	Blue	4	-	Blue
5	CAMERA5		5	-	Blue/White	5	n/c	Blue/White	5	-	Blue/White
6	CAMERA6		6	GND	Green	6	RX-	Green	6	-	Green
7	CAMERA7		7	TXD	Brown/White	7	n/c	Brown/White	7	RX-	Brown/White
8	GND		8	RXD	Brown	8	n/c	Brown	8	RX+	Brown
9	GND										

## 4-6 IP 接続



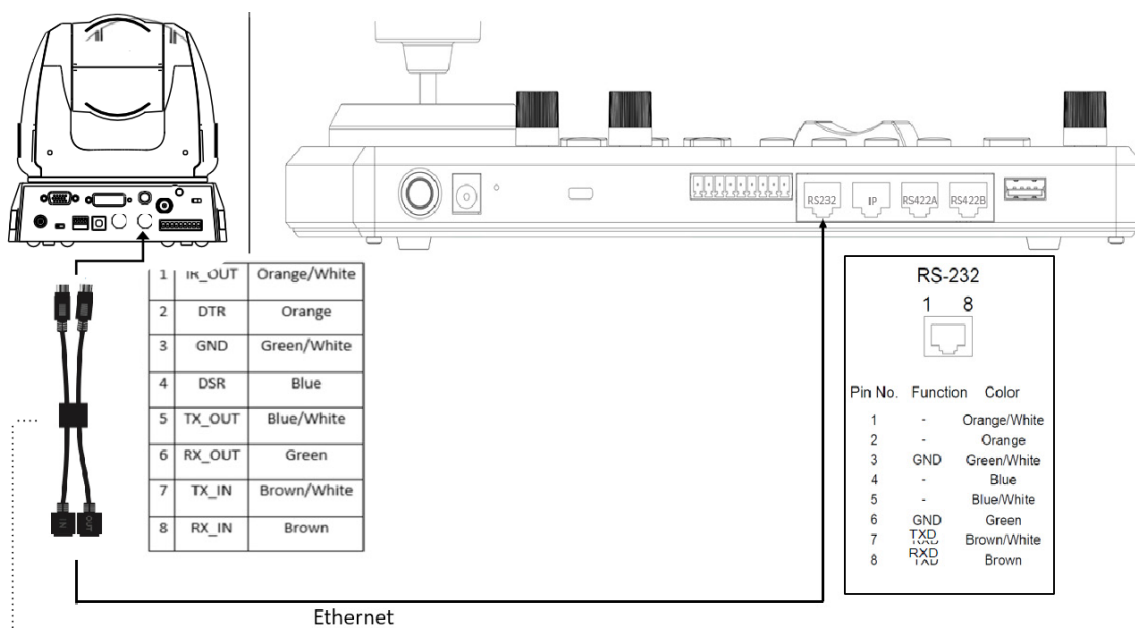
本機の「IP」ポートをイーサネットスイッチのポートに接続します。

本機で制御する ONVIF および VISCA over IP カメラの追加の詳細については、キーボード構成のセクションを参照してください。

## 4-7 RS232 接続

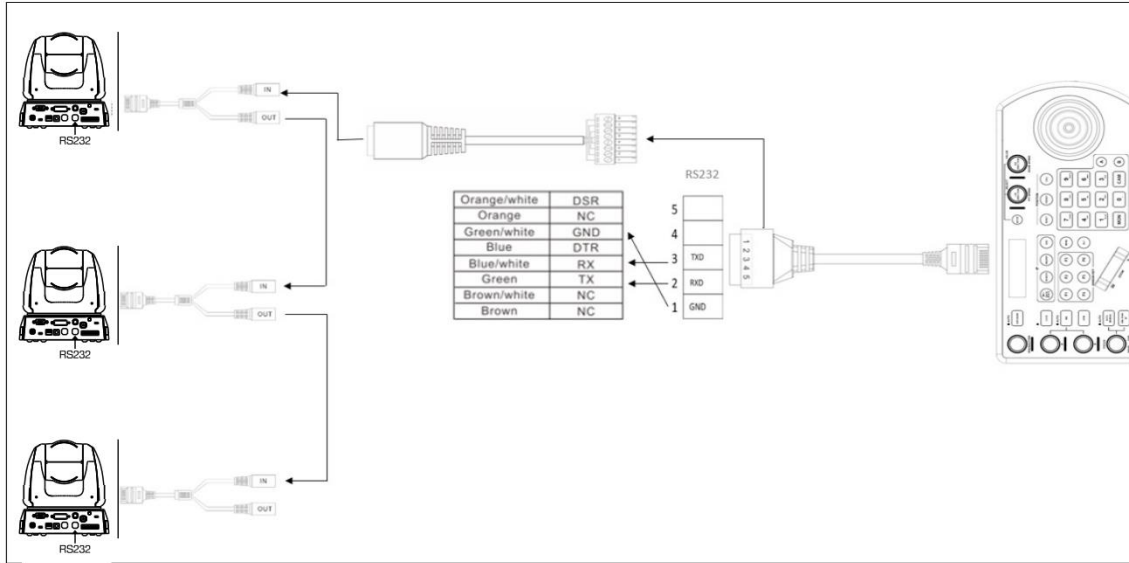
1. 次のオプションについては、次の図に従ってください。

- ・ 1対1接続、Marshallカメラのみ-付属の(既製の)イーサネットケーブル直接接続または標準イーサネットケーブルを使用します。
- ・ 1対1接続、他社製カメラ-キーボードのRS232ポートのピン配列に従って、カメラの制御に適したケーブルを作成します。

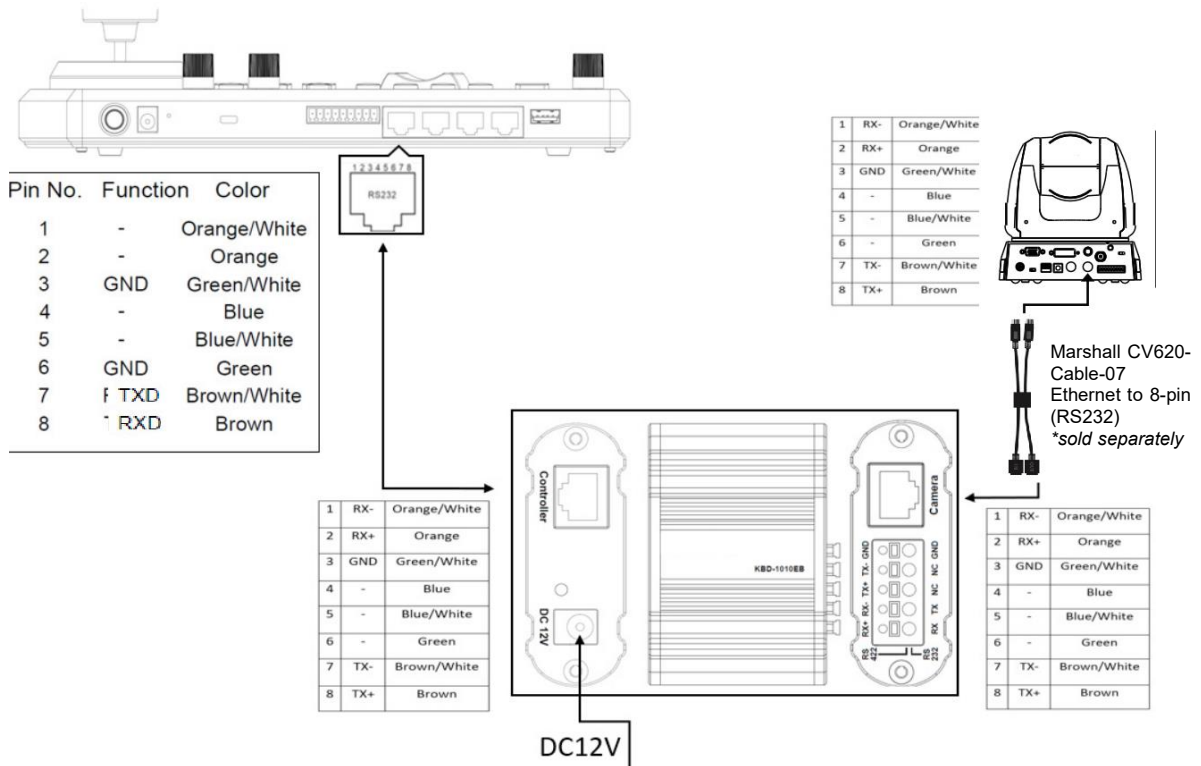


マーシャル CV620-ケーブル-07  
イーサネットから8ピン(RS232)  
\*別売り

### 2. RJ45-RS232 アダプター(Marshall/他社製カメラ)を使用します。

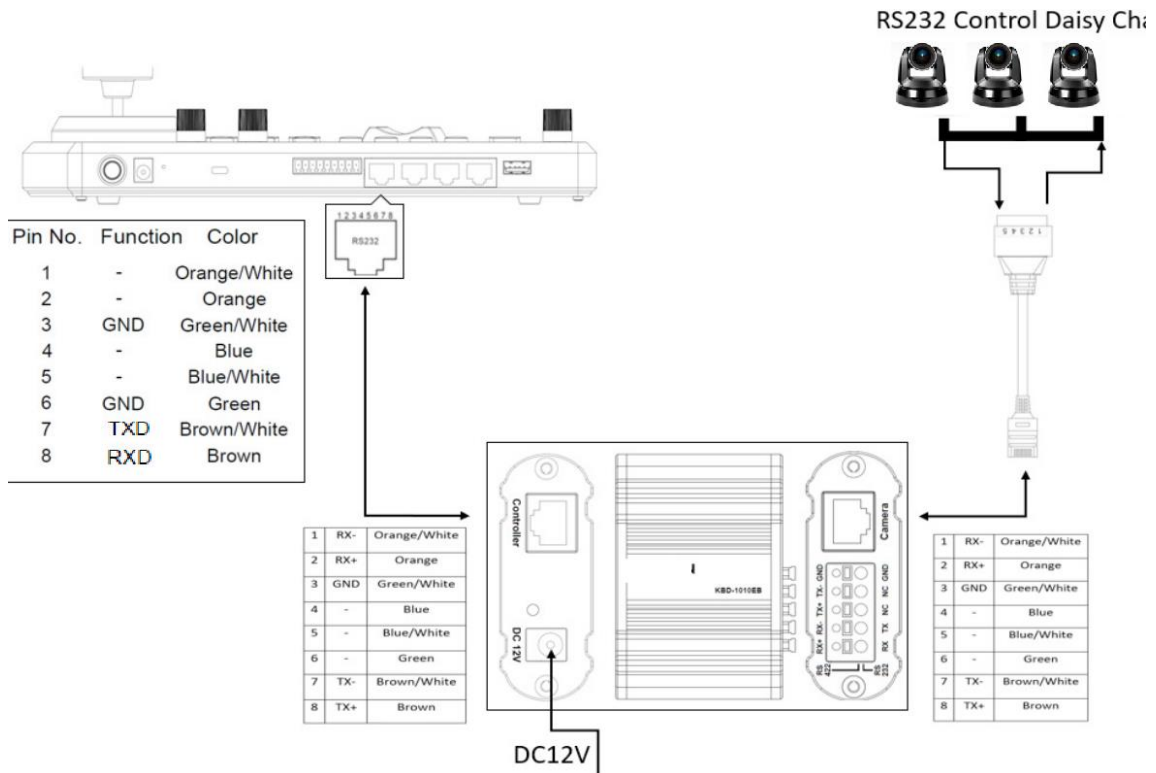


### 3. ジャンクションボックス(Marshall/他社製カメラ)を1対1で使用します。



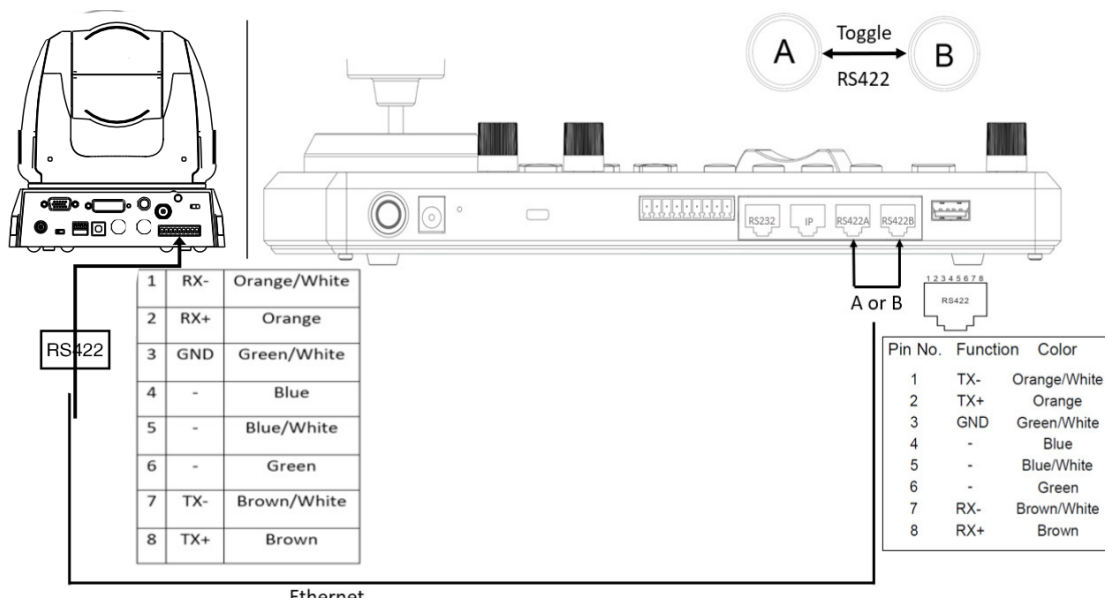


## デジチェーン:



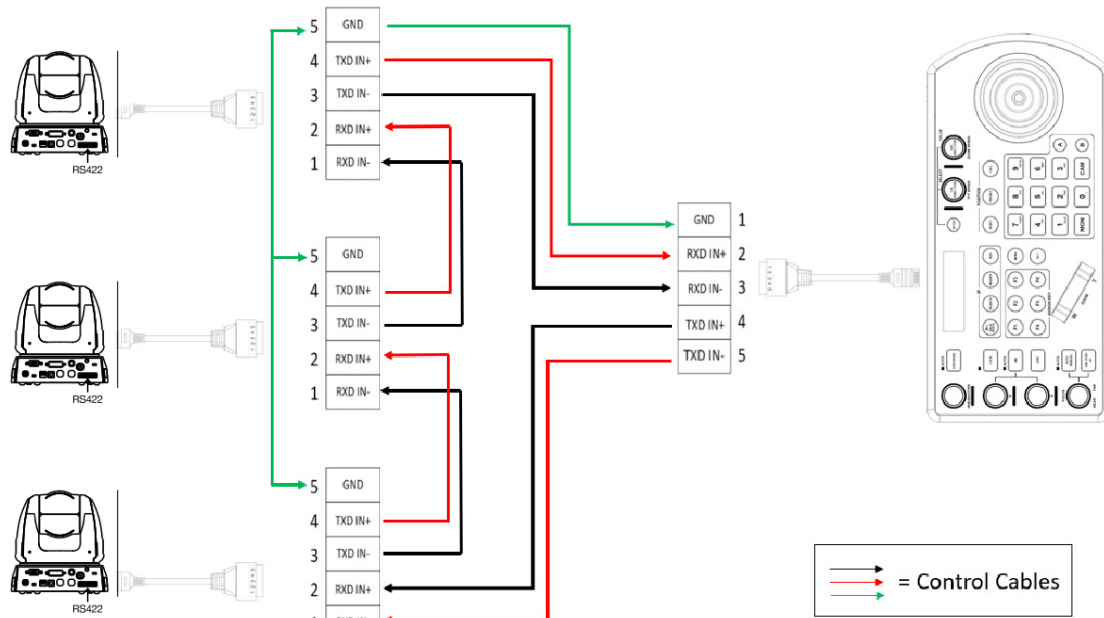
## 4-8 RS422 接続

- 次のオプションについては、次の図に従ってください。
  - 既製のネットワークケーブル直接接続を使用する(1対1接続)

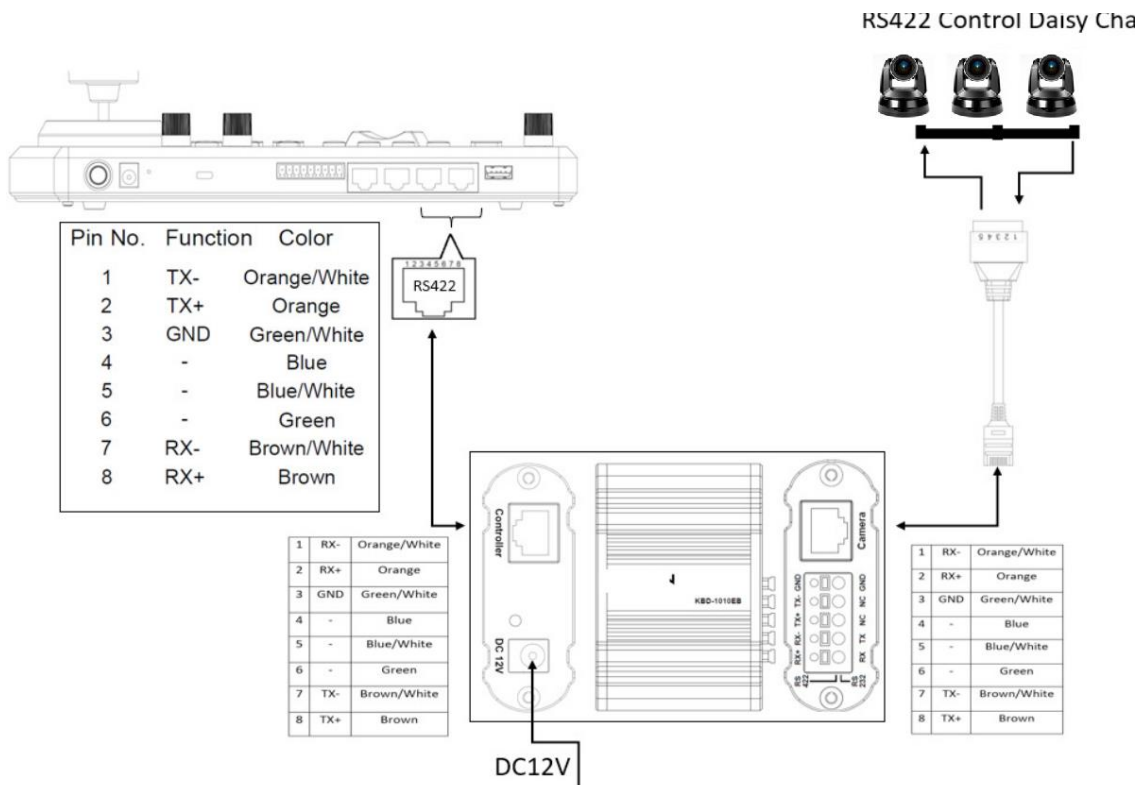


接続する独自のケーブルを作成します(ピン配列を使用)(Marshall / 他社製カメラ)

2. RJ45-RS422 アダプター+制御ワイヤー(デージーチェーン)を使用します(Marshall / 他社製カメラ)



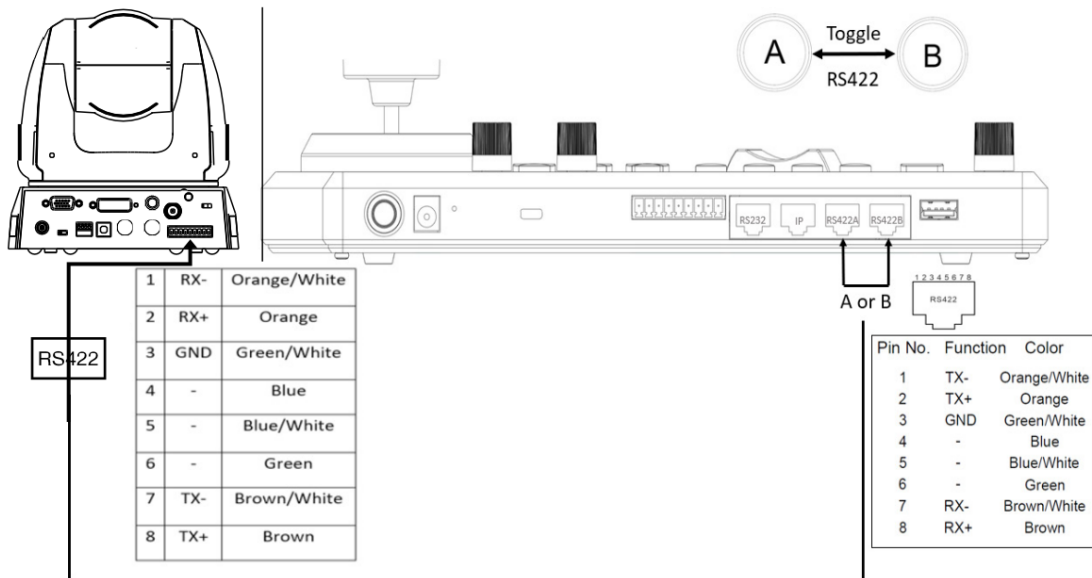
3. ジャンクションボックス(Marshall / 他社製カメラ)を使用します



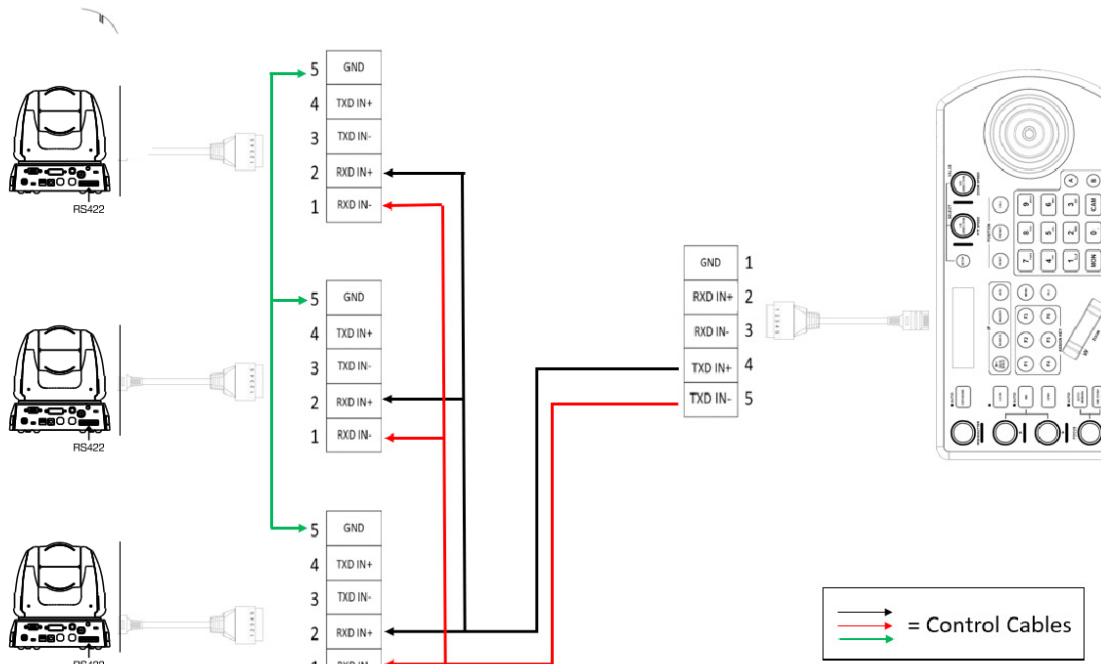
## 4-9 RS485 接続

1. 次のオプションについては、次の図に従ってください。

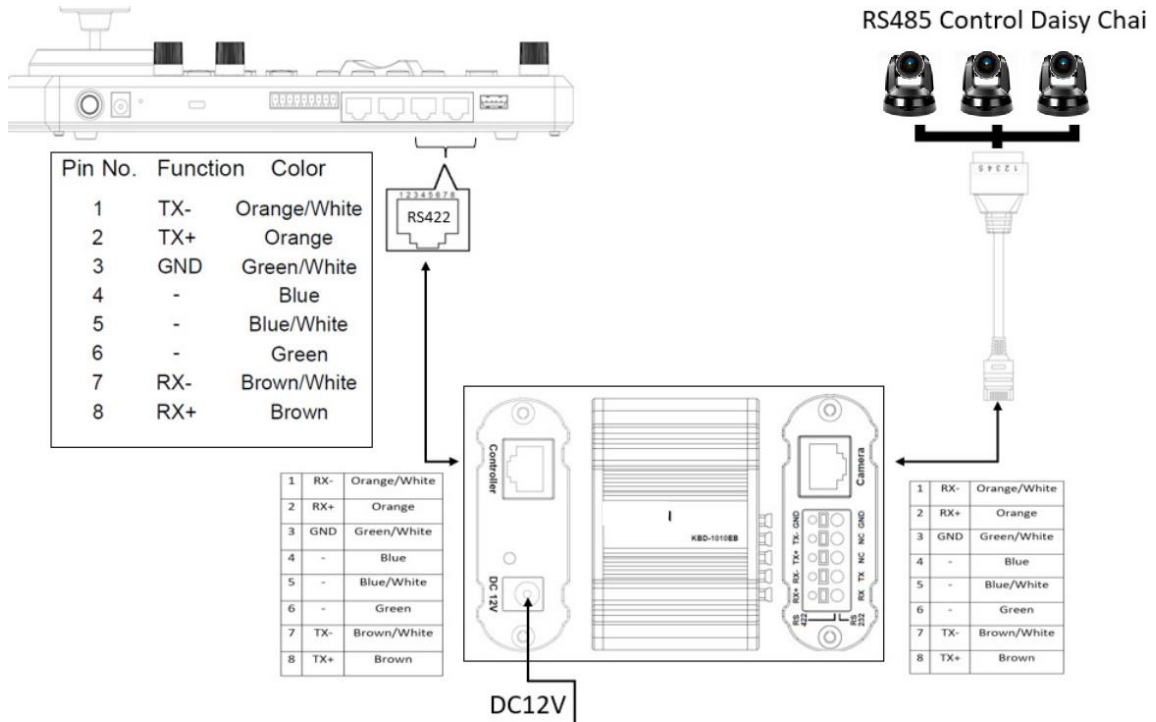
- ・ 既製のネットワークケーブル直接接続を使用する(1対1接続)
- ・ 接続する独自のケーブルを作成します(ピン配列を使用)(Marshall / 他社製カメラ)



2. RJ45-RS422 アダプター+制御ワイヤー(デジチェーン)を使用します(Marshall / 他社製カメラ)



### 3. ジャンクションボックス(Marshall / 他社製カメラ)を使用します



## 5. キーボード構成

### 5-1 VS-PTC-IP との相互作用

U / D(傾斜軸)を反転する  
には 3 秒間保持します



L / R(パン軸)を反転する  
には 3 秒間保持します



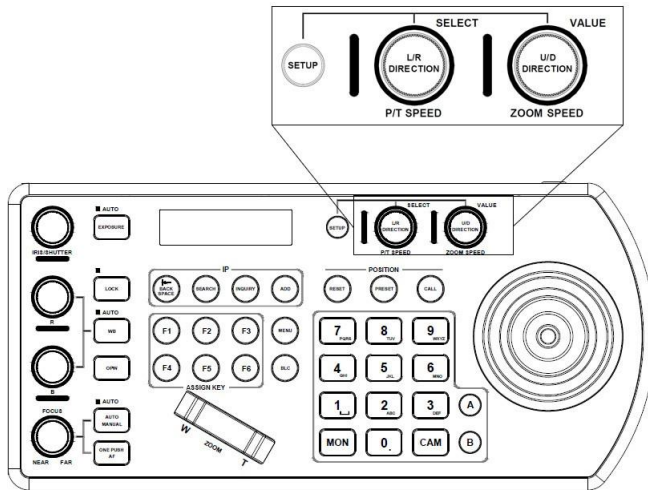
### 5-2 セットアップボタン:

P / T スピードダイヤル:

- ・回転:カーソルを移動
- ・クリック:選択
- ・長押し:L / R を反転(パン軸)

ズームスピードダイヤル:

- ・回転: 値を選択
- ・クリック: 保存
- ・長押し: U / D を反転(傾斜軸)



### 5-3 本機のセットアップ

デフォルトのパスワード: 0000

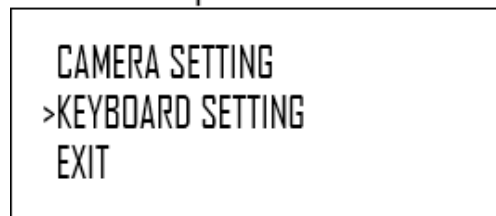
パスワードは以下で変更できます。

設定>キーボード設定>パスワード設定

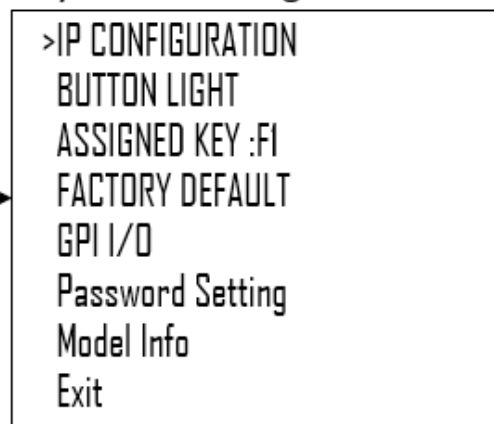
LCD 画面でメニューを開きます。

セットアップボタンは、LCD 画面のセットアップメニューを開きます。

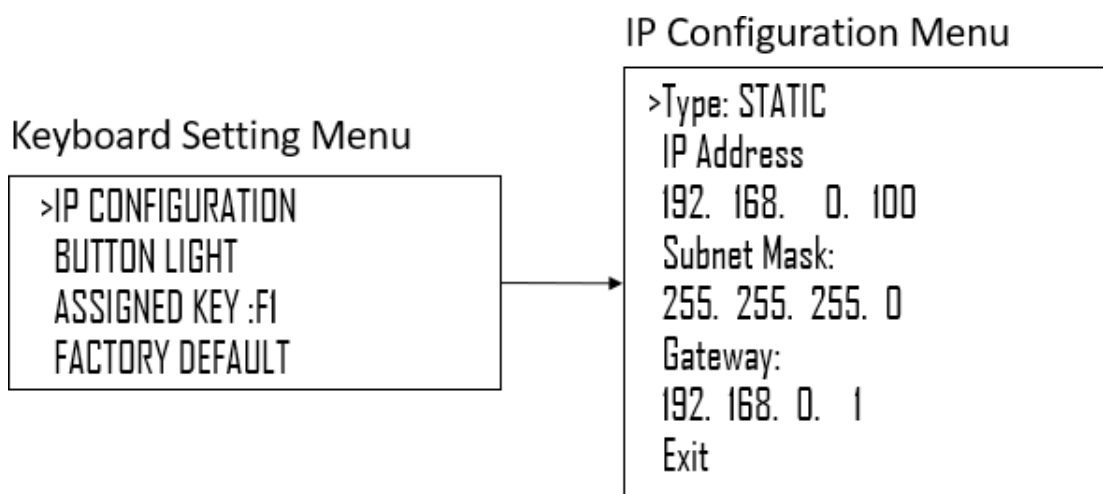
#### Main Setup Menu



#### Keyboard Setting Menu



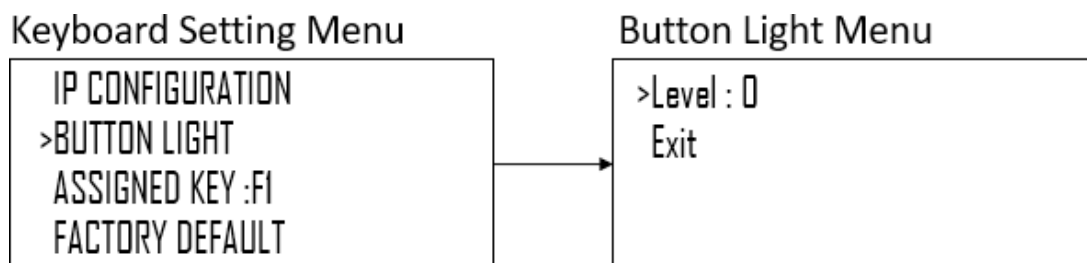
IP アドレスは、STATIC または DHCP のいずれかに設定できます。



- ・ IP アドレスを DHCP に設定する場合は、カーソルを[タイプ]フィールドに移動し、[ズームスピード]ダイヤルを回して値を DHCP に変更します。ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- ・ IP アドレスを STATIC アドレスに設定する場合は、[タイプ]フィールドに[STATIC]と表示されていることを確認してから、P / T スピードダイヤルを回してカーソルを IP アドレスオクテット間で移動します。カーソルを各オクテットに移動し、英数字キーパッドを使用してその値を入力します。P / T スピードダイヤルを回して次のオクテットに移動し、すべての IP アドレスオクテットが目的の値に設定されるまで繰り返します。
- ・ ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- ・ ネットワーク上で通信するために、必要に応じてサブネットマスクとゲートウェイを編集します。
- ・ ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- ・ このメニューを終了します。

#### 5-4 ボタンライト

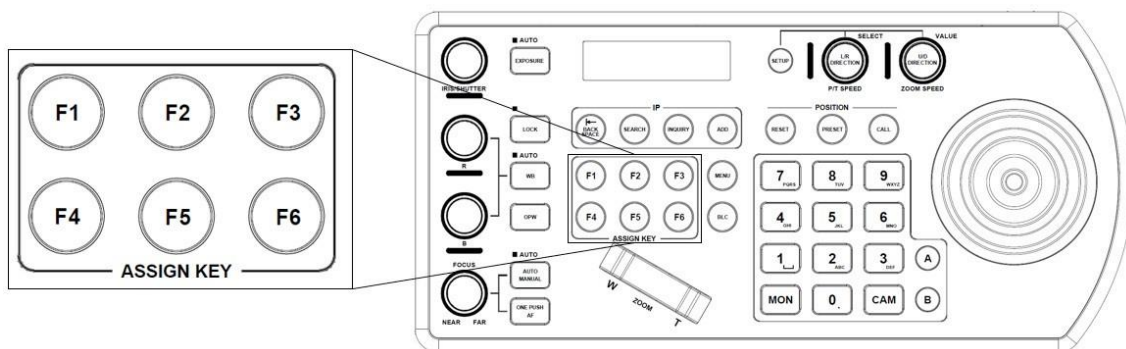
ボタンライト値は、ボタンの明るさを調整します。



- ・ ズームスピードダイヤルを回して値を調整します。
- ・ ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- ・ このメニューを終了します。

## 5-5 キーの割り当て

割り当てられたキーは、カメラ機能をアクティブにするためのショートカットとして構成できます。



### Keyboard Setting Menu

```

IP CONFIGURATION
BUTTON LIGHT
>ASSIGNED KEY :F1
FACTORY DEFAULT
    
```

### Assigned Key Menu

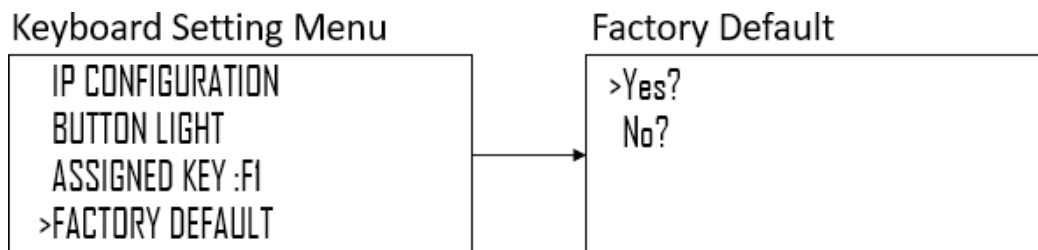
```

>HOME
Exit
    
```

- キーボードのセットアップメニューから、カーソルを[割り当てられたキー]フィールドに移動します
- ズーム速度ダイヤルを回して、構成する割り当て済みキーを選択します
- [P / T スピード] ボタンをクリックして、割り当てキーに機能を適用します
- 割り当てられたキーは、次の方法でカメラ機能に割り当てることができます。
  - ホーム—選択したカメラにコマンドを送信して「ホーム」プリセットをアクティブにします
  - P / T リセット—選択したカメラをリセットします
  - 電源—選択したカメラの電源を切ります
  - ミュート—選択したカメラからのオーディオをミュートします
  - 画像のフリーズ—選択したカメラの画像をフリーズします
  - 画像の反転—選択したカメラの画像を反転します
  - PictureLR Reverse—選択したカメラの L / R (パン方向) を反転します
- 終了

## 5-6 工場出荷時の設定

すべてのキーボード設定をクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します



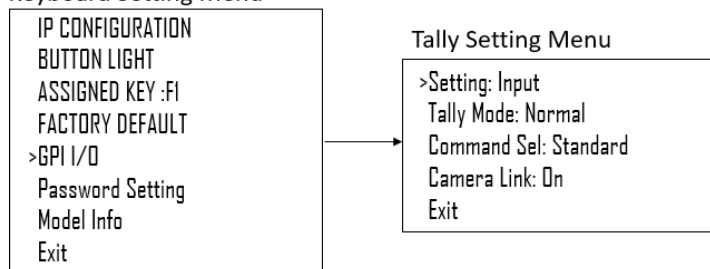
- ・ キーボードセットアップメニューから、FACTORY DEFAULT を選択します
- ・ [はい]を選択します

注:FACTORY DEFAULT の処理中は、ジョイスティックやズームシーソーを動かさないでください。

## 5-7 GPI I / O

GPI I / O メニューは、タリー設定を構成するために使用されます

Keyboard Setting Menu



設定:

- ・ 入力: GPI I / O コネクタの制御信号の方向を INPUT に設定します。この場合、タリー制御入力信号をコネクタに接続してください。
- ・ 出力: GPI I / O コネクタの制御信号の方向を OUTPUT に設定します。この場合、コネクタは対象カメラのカメラ番号を出力する接点出力コネクタとして機能します。

タリーモード

- ・ 通常:タリー入力がオンのカメラの番号に対応するタリー入ランプを表示し、自動的に対象カメラとして選択します。
- ・ オンエア:タリー入力がオンのカメラの番号に対応するタリー入ランプを表示します。

コマンド選択:

- ・ 標準:入出力方式を STANDARD 方式に設定します。カメラ番号と入出力ピン番号は 1:1 で対応しています。
  - ・ 本機とカメラがシリアル接続されている場合、カメラ 1~7 は入出力 1~7 に対応します。
  - ・ 本機とカメラが LAN 接続されている場合、グループ 1 のカメラ 1~10 は入出力 1~10 に対応します。

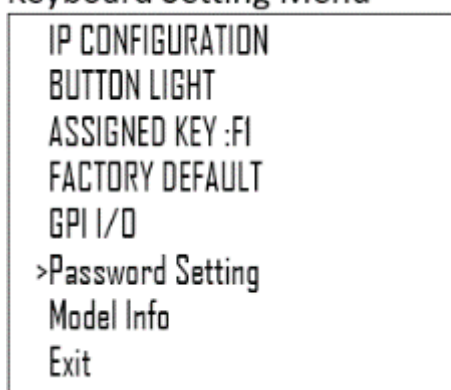


- ・ 展開:カメラ番号を2進数として処理します。
  - ・ シリアル接続で8以上のタリー入力番号は無視されます。この場合、応答は入力なしと同等です。
  - ・ グループ1~10のカメラ1~10に対応するLAN接続の番号は、1~100の番号として扱われます。タリー入力番号101以上は無視されます。この場合、応答は入力なしと同等です。

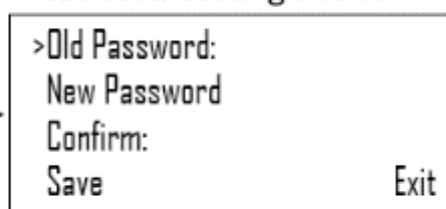
カメラリンク:タリーランプ制御のオン/オフを切り替えます。タリーランプの制御動作は、SETTINGとCAMERALINKの設定の組み合わせにより異なります。詳しくは、以下「タリーランプ制御操作」をご覧ください。

## 6. パスワード設定

### Keyboard Setting Menu



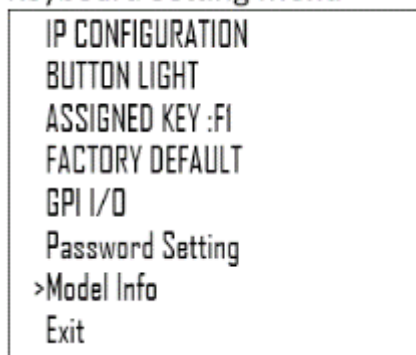
### Password Setting Menu



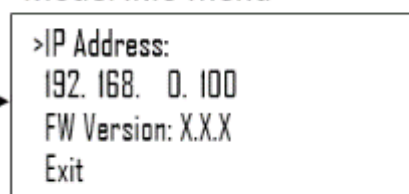
- ・ 古いパスワード:現在のパスワードを入力します。
- ・ 新しいパスワード:新しいパスワードを入力します。
- ・ 確認:確認のために新しいパスワードをもう一度入力します。
- ・ 保存:これを選択してパスワードを保存します。「OK」が表示され、新しいパスワードが保存されたことを確認します。

### モデル情報

#### Keyboard Setting Menu



#### Model Info Menu



モデル情報画面には、ユニットの現在のIPアドレスとファームウェアバージョンが含まれています

## 6-1 カメラの割り当て方法

カメラを手動で追加する

### Main Setup Menu

```
>CAMERA SETTING
KEYBOARD SETTING
EXIT
```

### Camera Setting Menu

```
>CAM001
Title:-
Protocol: VISCA
Exit
```

本機は、制御出来る、最大の設定を保存できます

- RS485PELCO プロトコルによる 255 台のカメラを個別に
- RS422 グループ A を介した VISCA プロトコルによる 7 台のカメラ
- RS422 グループ B を介した VISCA プロトコルによる 7 台のカメラ
- IPONVIF プロトコルによる 255 台のカメラを個別に
- VISCA-Over-IP プロトコルによる 255 台のカメラを個別に
- クロスプロトコルミックスコントロールによる合計 255 台のカメラ

カメラ選択にカーソルを置き、ズーム速度ダイヤルを使用して、カメラを割り当てるカメラスロットを選択します。

各カメラは、次のプロトコルのいずれかを使用して制御するように構成できます。

- VISCA
- PELCO-D
- PELCO-P
- ONVIF
- VISCAIP(VISCA over IP)

### Camera Setting Menu

```
CAM001
Title:-
>Protocol: VISCA
Exit
```

### Baud Rate Setting

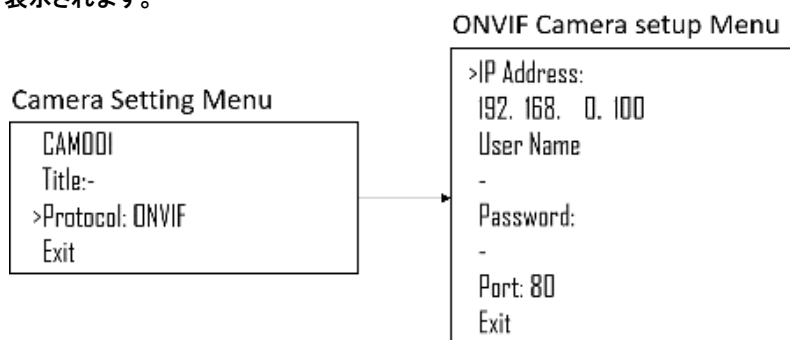
```
>Baud Rate: 9600
Exit
```

プロトコルとして VISCA、PELCO-D、PELCO-D を選択した場合は、ボーレート設定画面が表示されます。ズーム速度ダイヤルを使用して、ボーレートを設定します。ズームスピードダイヤルをクリックして保存し、このメニューを終了します。

## 6-2 本機への ONVIF カメラの追加

ローカルエリアネットワーク(LAN)から手動で追加

プロトコルとして ONVIF を選択し、P / T スピードダイヤルをクリックすると、ONVIF カメラセットアップメニューが表示されます。



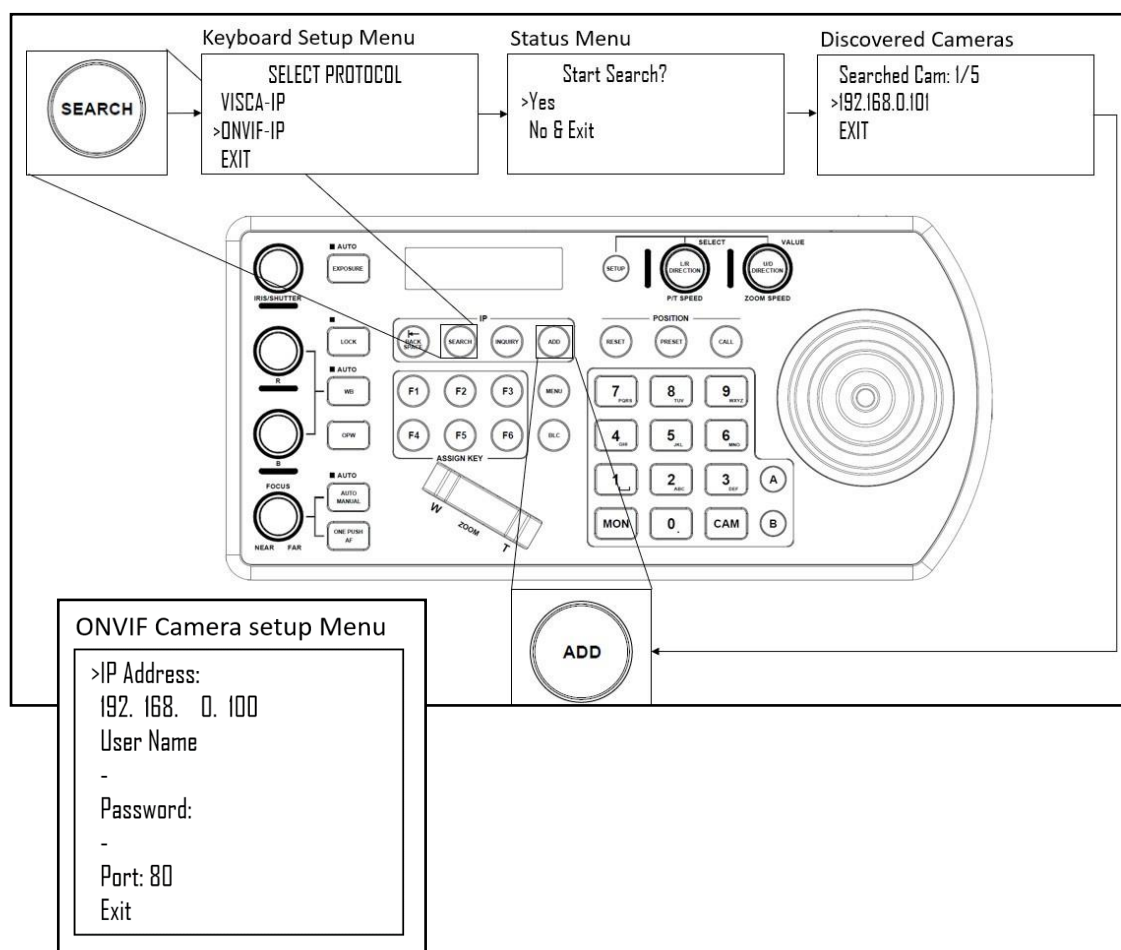
- ・ カメラの IP アドレスについては予め確認しておく必要があります。
- ・ カメラの IP アドレスは、キーボードと同じサブネット内にある必要があります。
- ・ P / T スピードダイヤルを回して、カーソルを IP アドレス内の項目間で移動します。カーソルを各項目に移動し、英数字キーパッドを使用してその値を入力します。P / T スピードダイヤルを回して次の項目に移動し、すべての IP アドレス設定が目的の値に設定されるまで繰り返します。ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- ・ カーソルを[ユーザー名]フィールドに移動し、英数字キーパッドを使用してユーザー名を入力します(ESC ボタンはバックスペースとして機能します)
- ・ 保存するには、[ズーム速度]ボタンをクリックします。
- ・ カーソルをパスワードフィールドに移動し、英数字キーパッドを使用してパスワードを入力します(ESC ボタンはバックスペースとして機能します)
- ・ 保存するには、[ズームスピード]ボタンをクリックします。
- ・ カーソルを[ポート]フィールドに移動します。
- ・ カメラがポート 80 以外のフィールドで通信するように構成されている場合は、英数字キーパッドを使用してポート番号を変更します(ESC ボタンはバックスペースとして機能します)
- ・ このメニューを終了します。

### 利用可能な ONVIF カメラのローカルエリアネットワーク(LAN)のスキャン

ネットワーク上でカメラを検出し、キーボードに追加して制御することができます。

- ・ 検索ボタンを押して、自動検索メニューを表示します。
- ・ カーソルを ONVIF-IP に移動します。
- ・ [はい]を選択して検索を開始します。
- ・ 検出されたカメラのリストが表示され、検出されたカメラが示されます。ズームスピードダイヤルを使用して、検出されたカメラをスクロールします。
- ・ VS-PTC-IP で制御するカメラを追加するには、[追加]ボタンを押します。

- CAMIDにカーソルを合わせ、ズーム速度ダイヤルを回してカメラをCAMIDに割り当てます。
- ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- カーソルをタイトルに移動し、英数字キーパッドを使用してカメラにタイトルを付けます。
- ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- カメラのユーザー名を入力します。
- ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- カメラのパスワードを入力します。
- ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- このメニューを終了します。



VS-PTC-IP に追加する検出されたカメラごとに、このプロセスを繰り返します。

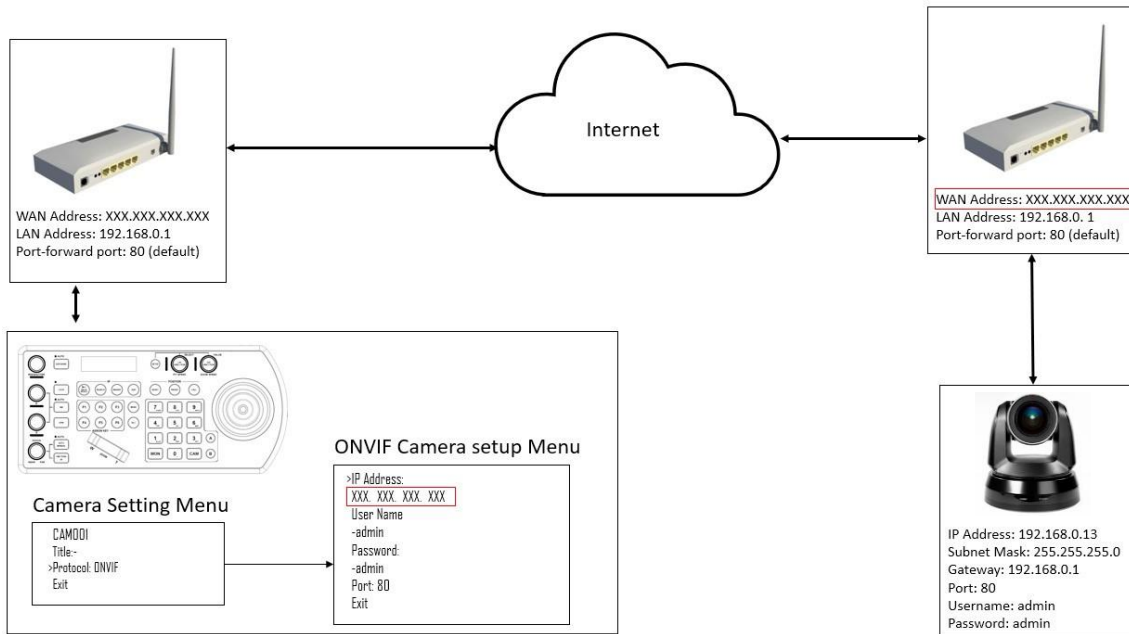
## WAN 経由で制御する ONVIF カメラの追加

## 1. カメラの場所:

- ・ コマンドがネットワークの外部からカメラに送るには、ポートを開く必要があります。
- ・ カメラの場所にいるネットワーク管理者に連絡して、ルーターにポート転送ルールを作成し、次の値を使用してコマンドが必要なポートを通過できるようにします。
  - ・ 送信元/外部ポート:80(デフォルト)
  - ・ 宛先/内部ポート:80(デフォルト)
  - ・ IP アドレス:カメラの IP アドレス
  - ・ プロトコル:両方(TCP と UDP)

## 2. 本機のネットワークの場所:

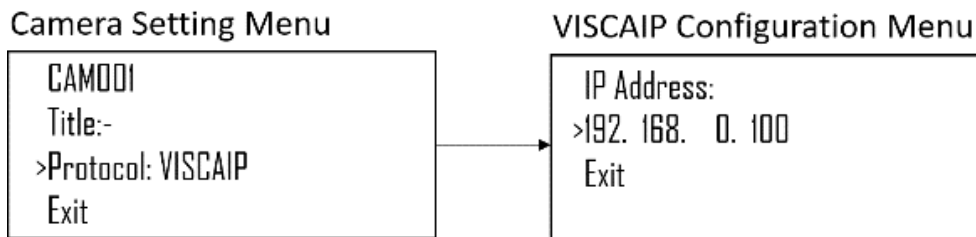
- ・ 本機の通信設定を DHCP に設定します。
- ・ 本機のネットワークの場所をネットワーク管理者に連絡して、ルーターにポート転送ルールを作成し、次の値を使用してコマンドが必要なポートを通過できるようにします。
  - ・ 送信元/外部ポート:80(デフォルト)
  - ・ 宛先/内部ポート:80(デフォルト)
  - ・ IP アドレス:キーボードの IP アドレス
  - ・ プロトコル:両方(TCP と UDP)
- ・ VS-PTC-IP のセットアップメニュー内で、カメラの場所の WANIP を IP アドレスとして使用して ONVIF カメラを追加します。
- ・ 保存するには、P / T スピードダイヤルをクリックします。
- ・ カメラのユーザー名を入力します。
- ・ 保存するには、P / T スピードダイヤルをクリックします。
- ・ カメラのパスワードを入力します。
- ・ 保存するには、P / T スピードダイヤルをクリックします。



### 6-3 本機への VISCA over IP カメラの追加

ローカルエリアネットワーク(LAN)から手で追加

プロトコルとして VISCAIP(VISCA over IP)を選択し、P / T スピードダイヤルをクリックすると、VISCAIP 構成メニューが表示されます。

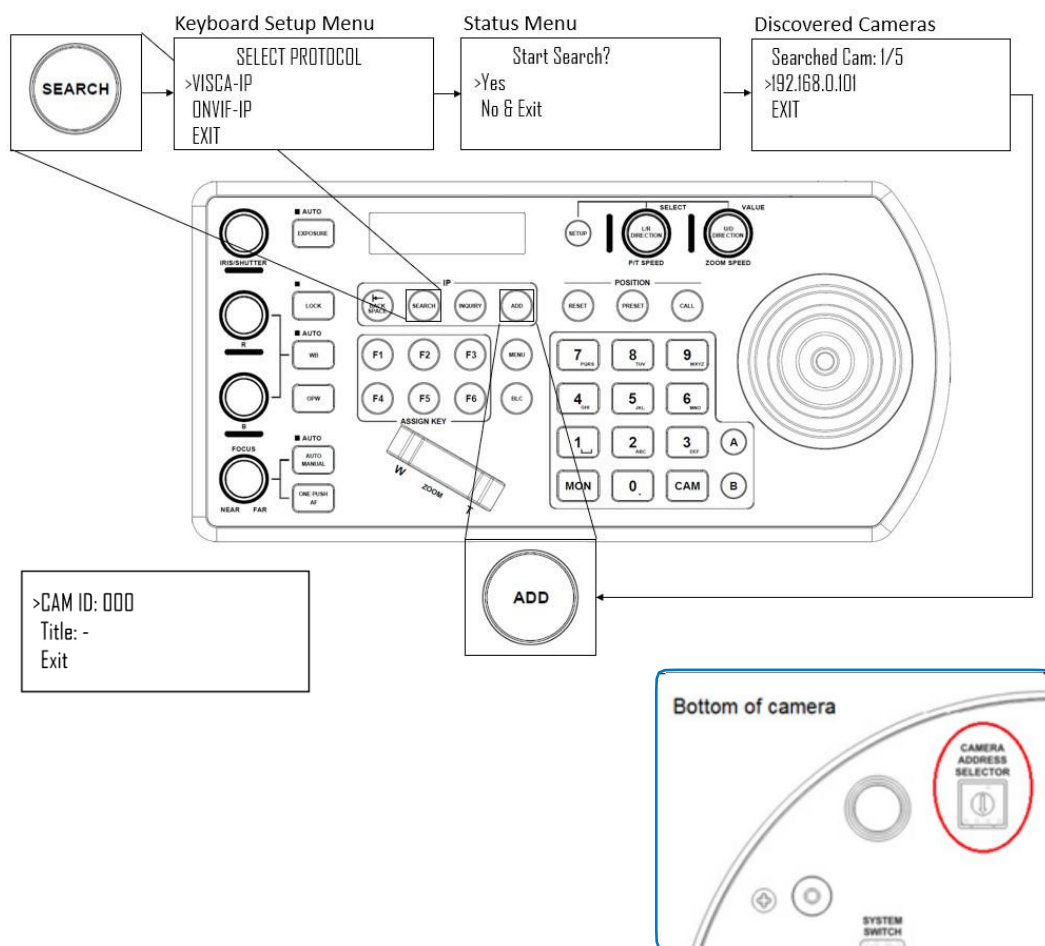


- ・ P / T スピードダイヤルを回して、カーソルを IP アドレスオクテット間で移動します。カーソルを各項目に移動し、英数字キーパッドを使用してその値を入力します。P / T スピードダイヤルを回して次の項目に移動し、すべての IP アドレス項目が目的の値に設定されるまで繰り返します。
- ・ ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- ・ このメニューを終了します。

VS-PTC-IP キーボードで制御するカメラごとにこのプロセスを繰り返します。

ローカルネットワークをスキャンして、利用可能な VISCA over IP カメラを探す

- ・ 検索ボタンを押して、自動検索メニューを表示します。
- ・ カーソルを VISCA-IP に移動します。
- ・ [はい]を選択して検索を開始します。
- ・ 検出されたカメラのリストが表示され、検出されたカメラが示されます。ズームスピードダイヤルを使用して、検出されたカメラをスクロールします。
- ・ VS-PTC-IP で制御するカメラを追加するには、[追加]ボタンを押します。
- ・ CAMID にカーソルを合わせ、ズーム速度ダイヤルを回してカメラを CAMID に割り当てます。
- ・ ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。
- ・ カーソルをタイトルに移動し、英数字キーパッドを使用してカメラにタイトルを付けます。
- ・ ズームスピードダイヤルをクリックして保存します。



VS-PTC-IP に追加する検出されたカメラごとに、このプロセスを繰り返します。

注: Visca over IP では、カメラ側のすべてのカメラアドレスセクターを「1」に設定する必要があります。これは、IP を介してセットアップされ、VS-PTC-IP コントローラーによって制御されるすべての IP カメラに適用されます。マーシャル CV620-IP、CV620-NDI、CV630-IP、CV630-NDI およびその他のマーシャル IP PTZ カメラ、カメラアドレスセクター-DIAL はカメラベースの下にあります(右下図を参照)。

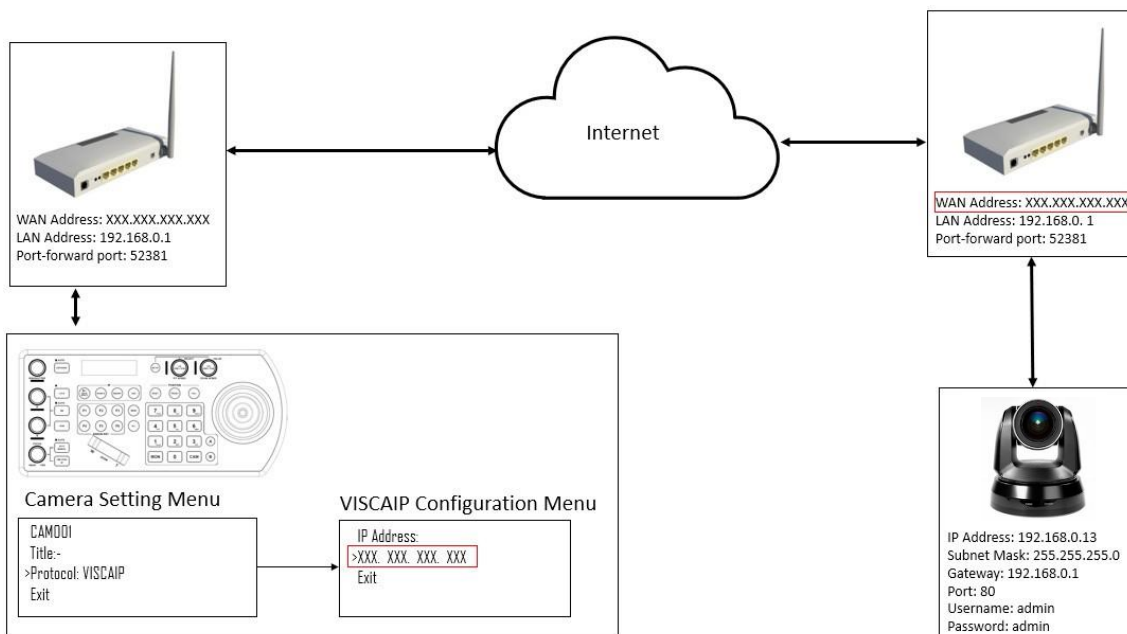
### WAN 経由で制御する VISCA over IP カメラの追加

#### 3. カメラの場所:

- ・ コマンドがネットワークの外部からカメラに送るには、ポートを開く必要があります。
- ・ カメラの場所にいるネットワーク管理者に連絡して、ルーターにポート転送ルールを作成し、次の値を使用してコマンドが必要なポートを通過できるようにします。
  - ・ 送信元/外部ポート:52381
  - ・ 宛先/内部ポート:52381
  - ・ IP アドレス:カメラの IP アドレス
  - ・ プロトコル:両方(TCP と UDP)

#### 4. 本機のネットワークの場所:

- ・ 本機の通信設定を DHCP に設定します。
- ・ 本機のネットワークの場所をネットワーク管理者に連絡して、ルーターにポート転送ルールを作成し、次の値を使用してコマンドが必要なポートを通過できるようにします。
  - ・ 送信元/外部ポート:52381
  - ・ 宛先/内部ポート:52381
  - ・ IP アドレス:本機の IP アドレス
  - ・ プロトコル:両方(TCP と UDP)
- ・ VS-PTC-IP の[セットアップ]メニューで、カメラの場所の WAN IP を IP アドレスとして使用して、VISCA overIP カメラを追加します。
- ・ 保存するには、P / T スピードダイヤルをクリックします。

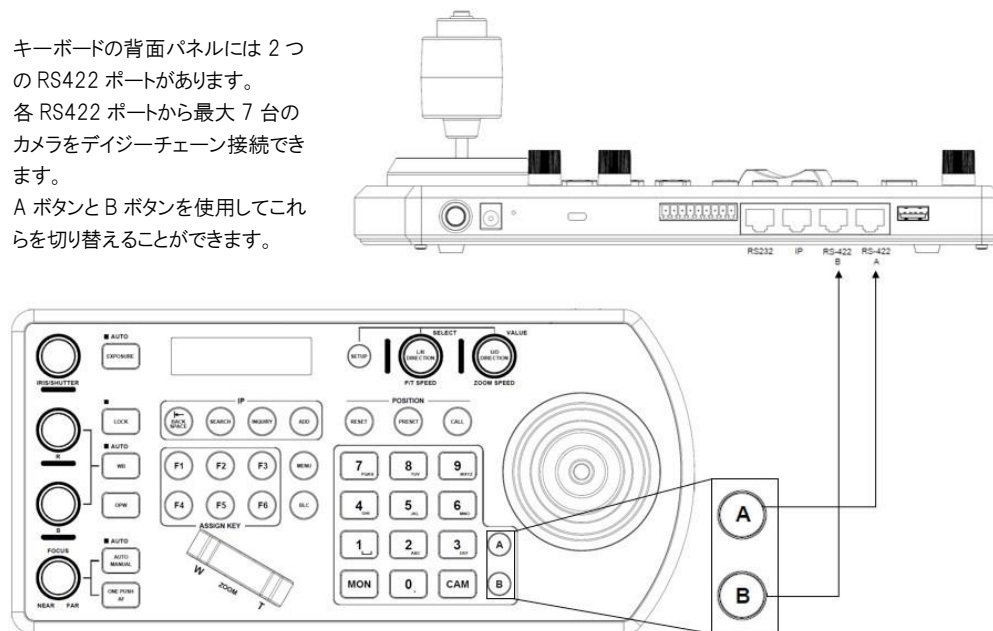




## 7. カメラとの相互作用

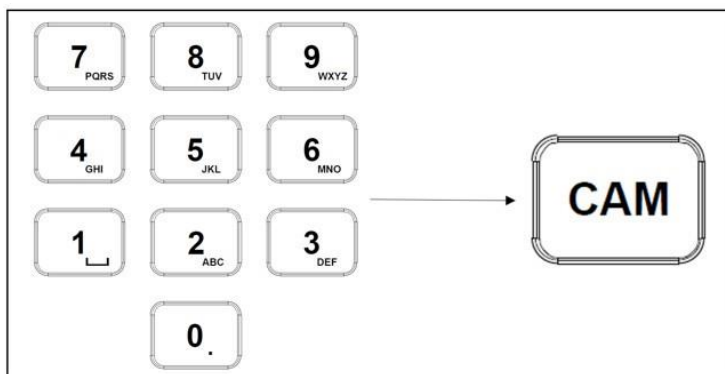
### 7-1 RS422A ボタンと RS422B ボタン

キーボードの背面パネルには 2 つの RS422 ポートがあります。各 RS422 ポートから最大 7 台のカメラをデジーチェーン接続できます。A ボタンと B ボタンを使用してこれらを切り替えることができます。



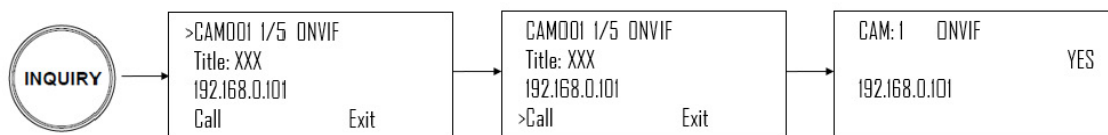
### 7-2 カメラを呼び出すためのオプション

1. キーパッドを使用して、CAMID でカメラを呼び出します
  - ・ キーパッドで CAMID を入力します
  - ・ CAM を押します



2. 利用可能なデバイスのリストから選択して IP カメラを呼び出します
  - ・ お問い合わせボタンを押してください
  - ・ プロトコルを選択します

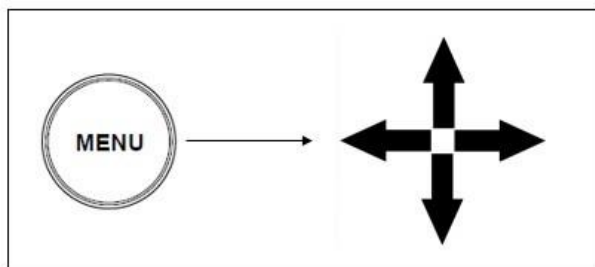
- ・ ズームスピードダイヤルを使用してリストをスクロールします
- ・ カーソルを「通話」に移動し、P / T スピードダイヤルをクリックします



### 7-3 カメラの制御

#### 非 IP カメラのカメラ OSD メニューの使用

1. キーボードのメニューボタンを押して、OSD メニューを有効にするコマンドをカメラに送信します。
2. ジョイスティックを使用してメニューをナビゲートします。
  - ・ メニューオプションをナビゲートするには、上下に移動します。
  - ・ ジョイスティックを右に動かして、「入力」コマンドを送信します。
  - ・ 値を調整するために上下に移動します。
  - ・ ジョイスティックを左に動かして、「終了」コマンドを送信します。



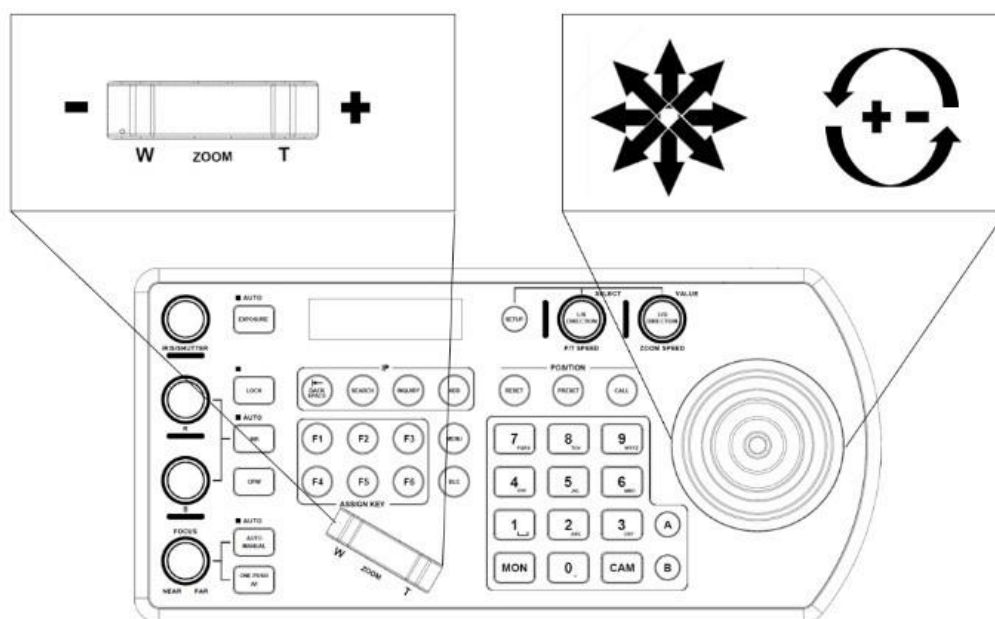
#### PELCO-D または ONVIF-IP カメラのカメラ OSD メニューの使用

1. 英数字キーパッドで、プリセット 95 を呼び出してメニューを有効にします(95 と入力し、[呼び出し]ボタンを押します)。



## 7-4 手動移動

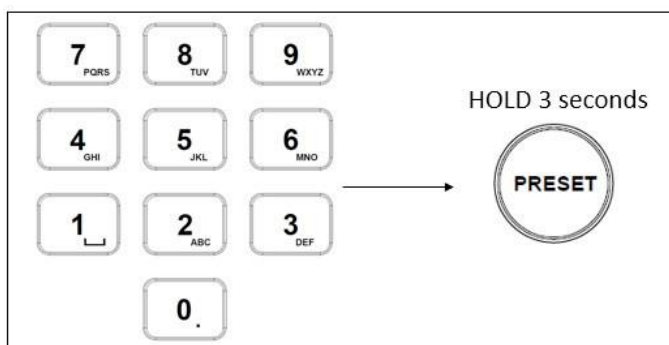
- ・ パン、チルト、ズームの動きを同時に実行できます。
- ・ ジョイスティックを使用して、カメラを任意の方向にパン/チルトできます。
- ・ ジョイスティックのハンドルを回転させてズームイン/ズームアウトできます。
- ・ メニューにない場合、P / T 速度とズーム速度のダイヤルは、キーボードからのコマンドにตอบสนองしてカメラがパン、チルト、ズームする速度を制御します。
- ・ ズームシーソーを使用してズームイン/ズームアウトできます。



## 7-5 プリセットの設定と呼び出し

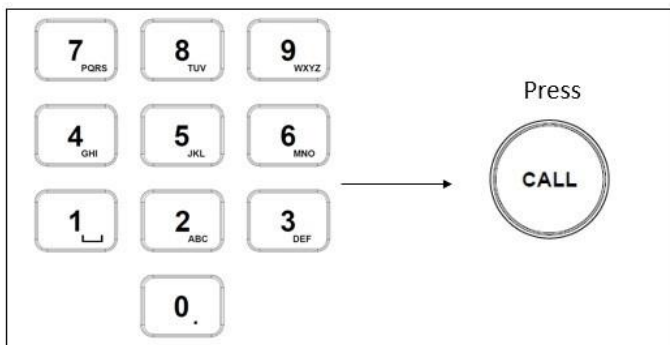
プリセットの設定/作成:

1. カメラを目的の位置に移動します。
2. 英数字キーボードで希望のプリセット番号を入力し、プリセットボタンを 3 秒間押し続けて保存します。



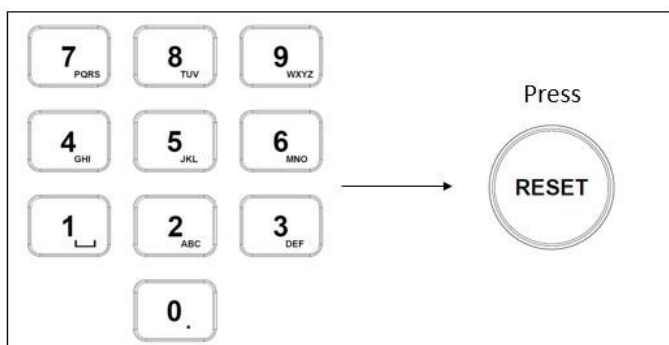
### プリセットの呼び出し:

1. 英数字キーパッドで目的のプリセット番号を入力します。
2. 呼び出し CALL ボタンを押します。



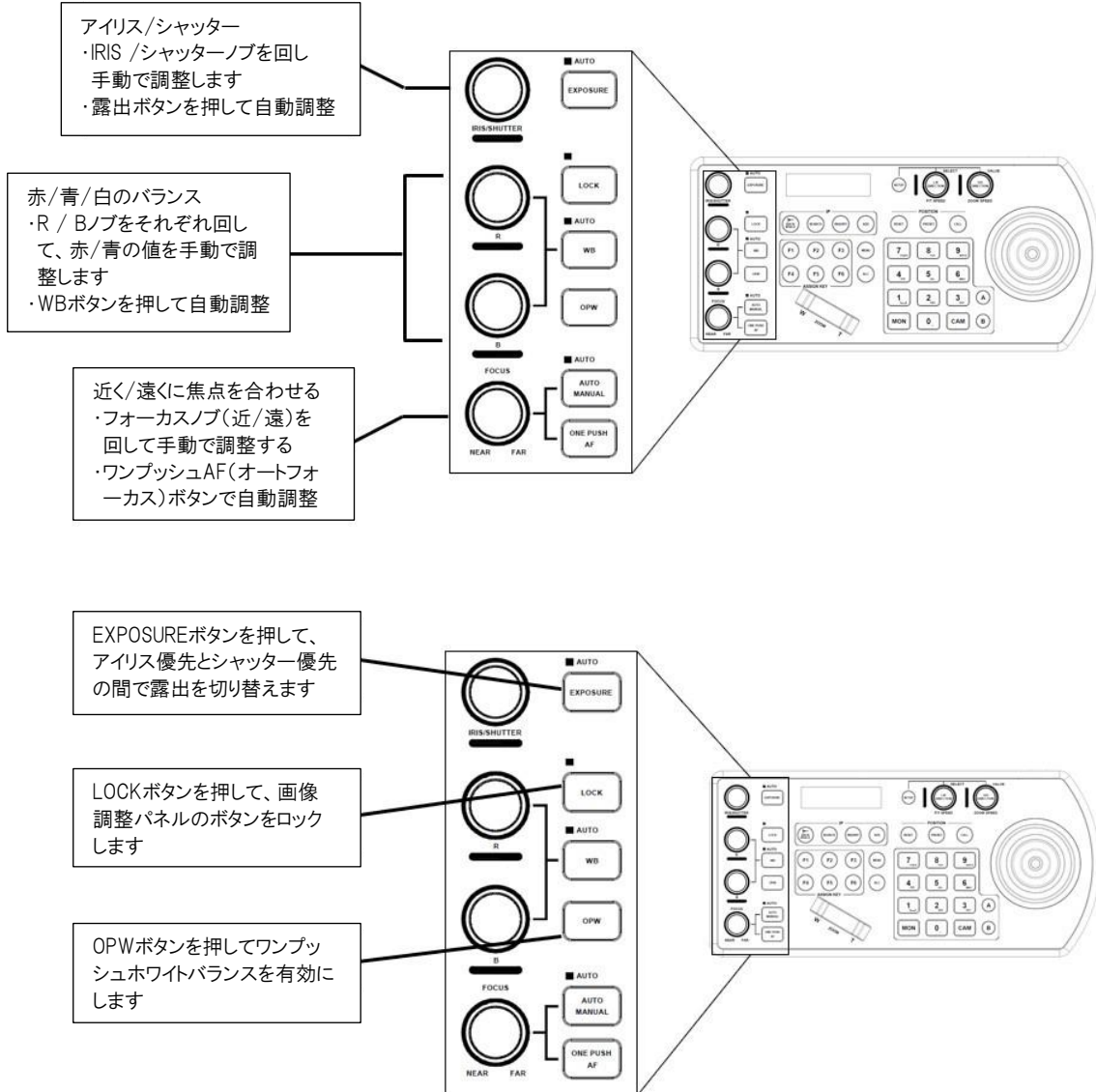
### プリセットのリセット/クリア:

1. クリアしたいプリセットの番号を入力します。
2. リセットボタンを押します。

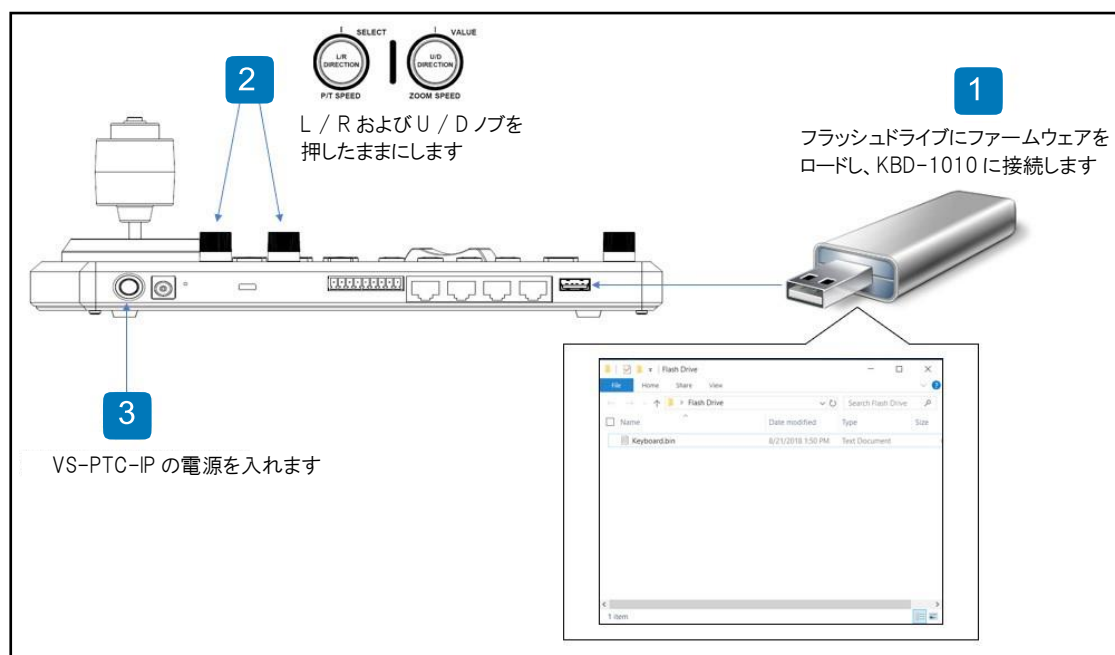


## 7-6 画像パラメータの調整

以下の画像パラメータは、画像調整パネルを使用して設定/調整できます。



## 8. ファームウェアのアップグレード



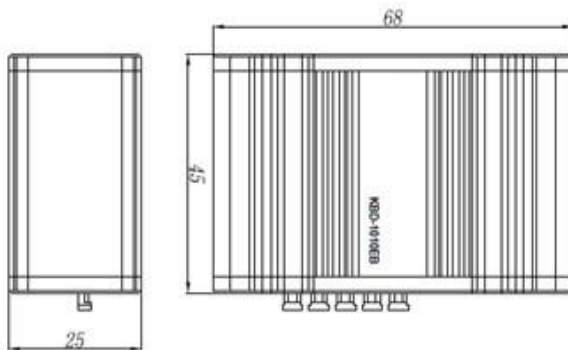
最新のファームウェアファイルは、[www.marshall-usa.com](http://www.marshall-usa.com) からダウンロードできます。

この作業は、**本機**の電源を切った状態から始めてください。

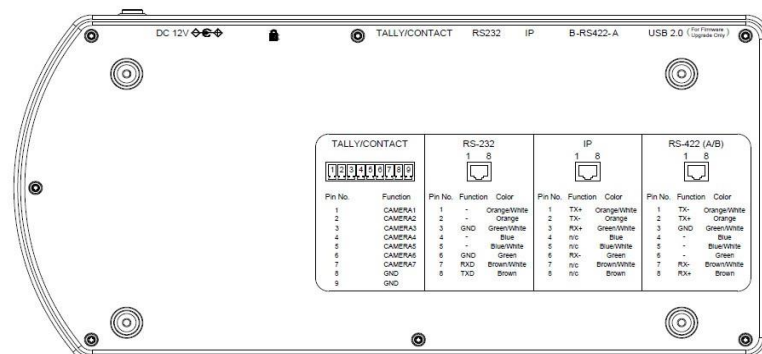
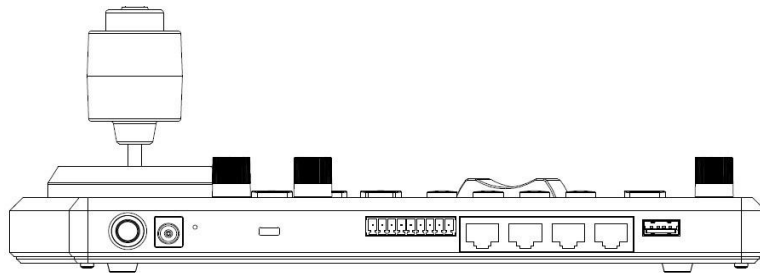
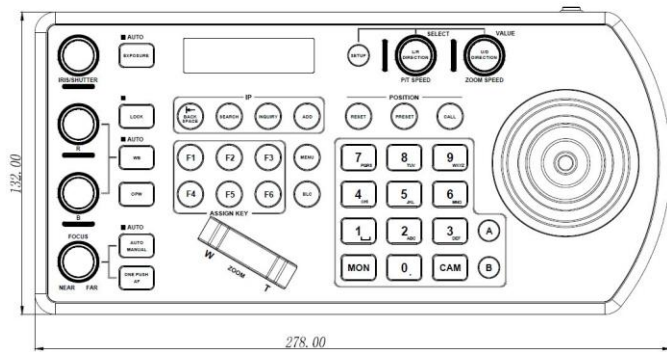
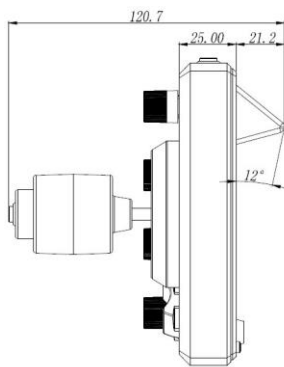
1. 「.bin」ファームウェアファイルを含むフラッシュドライブを(フォルダ内ではなく)ルートディレクトリにロードし、フラッシュドライブを VS-PTC-IP の背面パネルの USB ポートに配置します。
2. L / R 方向ノブと U / D 方向ノブを押したままにします。
3. ノブを押したまま、電源ボタンをクリックして「オン」の位置にしてキーボードの電源を入れます。キーボードには、アップグレードが行われていることの確認が表示されます。
4. アップグレードが完了したら、キーボードの電源を入れ直します。

## 9. 寸法

### ジャンクボックス



### VS-PTC-IP の寸法



単位:mm

### 保証

Marshall VS-PTC-IP は、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から 1 年間は無償修理保証の対象となります。

この保証はご購入者様のみ適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。

シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。

この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、変更または修正は、この保証の限りではありません。販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、Marshall Electronics に代わって保証期間を延長することはできません。

製品および製品の機能を改善するため、仕様は予告なしに変更される場合があります。

保証期間内でも以下の場合には有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

誤った使用方法や、不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。

落下などによる故障、損傷。

火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

日本国内サポート窓口

# Marshall

BROADCAST & PRO AV

株式会社 M&Inext Marshall 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

<http://marshall-japan.com/>

[contact@minext.jp](mailto:contact@minext.jp)

2023 年 11 月 30 日